



渡良瀬遊水地

ハートランドプラン

ハートランドの国づくり

～渡良瀬遊水地の宝を守り 夢を未来へつなげる～
人と自然の楽園・ハートランド





ハートランドプラン

— 目 次 —



1章 はじめに	1
1. ハートランドは何処にある?	1
2. ハートランドはどんな国?	1
3. ハートランドの大切な役割.....	1
4. ハートランドプランとは	1
2章 ハートランドの今	2
1. ハートランドへの道のり	2
2. 4市2町にわたる広大かつ特殊な空間です	4
3. 人々の命と財産を守っています	6
4. 首都圏の水不足に備えています	7
5. 自然と生きものの宝庫です	8
6. さまざまな歴史が関わっています	12
7. 多くの人が憩い楽しむ空間です	14
8. 渡良瀬遊水地を学び楽しむ施設です	16
9. みんなの声（アンケート調査結果）	17
3章 ハートランドの国づくり	18
1. ハートランドの将来像	18
2. ハートランドの国づくりの方針	18
3. ハートランドの国づくりの柱	21
4章 渡良瀬ナイスの誓い	23
誓い一：治水・利水を進める	24
誓い二：自然と歴史を受け継ぐ	26
誓い三：レジャー・スポーツを楽しむ	30
誓い四：おもてなしの環境を育む	34
誓い五：誇りを抱いて交流する	37
資料編	40
1. 策定経緯	40
2. アンケート調査	42
3. 収録図版一覧	48

1. ハートランドは何処にある？

ハートランドは、栃木市の南部にある渡良瀬遊水地の中にあります。大自然が広がる渡良瀬遊水地に、人間世界とは別にファンタスティックな国が存在しているのです。この国が「ハートランド」と呼ばれています。



2. ハートランドはどんな国？

ハートランドは、心優しいハーツ姫が、動物たち、植物たちと仲良く楽しく、そして助け合いながら暮らしている国です。

ハートランドにはハートの形をした大きな池があり、この国の象徴となっています。この大きな池は、渡良瀬遊水地の自然を始め、歴史やレジャー・スポーツなど、ハートランドの全てを愛することを表しているのです。

3. ハートランドの大切な役割

ハートランドは、台風や洪水など、自然界の暴れん坊たちに襲われることがあります。多過ぎる水に悩まされたり、逆に水が極端に少なくなってしまって困ったりすることもあります。そういう自然の過ぎた状況の時にも、安心して安全に暮らせるように、ハーツ姫とその仲間たちは常に備えています。

4. ハートランドプランとは

ハートランドは、心が通い合い、思いやりの気持ちに満ち溢れた国です。この無垢で純粋な気持ちで、大切な渡良瀬遊水地を守り、未来に残していくために策定した平成27年（2015）度から平成36年（2024）度までの10年間の基本計画がこのハートランドプランです。

ハートランドの住人たち

	<p>Hearts (ハーツ) 姫 (中央前) 愛らしいハート型の顔。 ハナムグラの飾りを付け、お魚のボ シェットがお気に入り。 Watarase (渡良瀬) 712 (ハーツ姫左) 渡良瀬遊水地のシンボル「チュウ ヒ」の体を持つイケメン。タチスミ レの飾りに、ハートランドの紋章付 きのマントがお気に入り。 ハートランドには他にも楽しい仲間 がいっぱいいます。</p>
--	---

2章 ハートランドの今

1. ハートランドへの道のり

関東平野のほぼ中央にある自然豊かな渡良瀬遊水地は、首都圏から約 60km と近く、車でも電車でも約 1 時間の距離にあり、交通の利便性が良いところです。

北エントランス 《年中利用可。大型車原則不可。ただし、谷中湖周辺エリアへのゲートは開園日のみ利用可。》

- 車で行く：佐野藤岡 IC から（約 11.7 km）
国道 50 号を東（小山市方面）へ ⇒ 道の駅「みかも」を右折
⇒ 県道・佐野古河線を東進、東武日光線を越えた後、右折
⇒ 「藤岡大橋」を渡り、県道佐野古河線を南進
⇒ 北エントランス
- バスで行く：東武日光線藤岡駅から
栃木市ふれあいバス藤岡線を利用
藤岡駅前 ⇒ （北エントランス）
⇒ 谷中湖（土日祝日のみ）
- 電車で行く：東武日光線板倉東洋大前駅から徒歩

首都圏位置図



中央エントランス 《年中利用可。大型車原則不可。》

- 車で行く：館林 IC から（約 10.5 km）
国道 354 号を東（板倉町方面）へ
⇒ 渡良瀬遊水地に至り左折
⇒ 県道・佐野古河線
⇒ 中央エントランス
- バスで行く：東武日光線藤岡駅から
栃木市ふれあいバス藤岡線を利用
藤岡駅前 ⇒ 道の駅きたかわべ（平日のみ）
⇒ （徒歩） ⇒ 中央エントランス
- 電車で行く：東武日光線柳生駅から徒歩
柳生駅前 ⇒ （徒歩）
⇒ ミクニ緑道
⇒ 中央エントランス

周辺位置図



【課題】ハートランドのイメージに相応しい景観づくりに配慮した、わかりやすい案内板の整備や駅からの安全なアクセスの確保などが求められます。



北エントランス

藤岡駅

(ふれあいバス
(藤岡駅前停留所)

栃木市

第3調節池

谷中湖エリアエントランス



藤岡駅前案内サイン



東武日光線

第1調節池

小山市

第2調節池

北エントランス

板倉町

板倉東洋太前駅

加須市

(ふれあいバス
(谷中湖停留所)

中央エントランス

谷中湖

古河市

野木町

谷中湖サイン



2. 4市2町にわたる広大かつ特殊な空間です

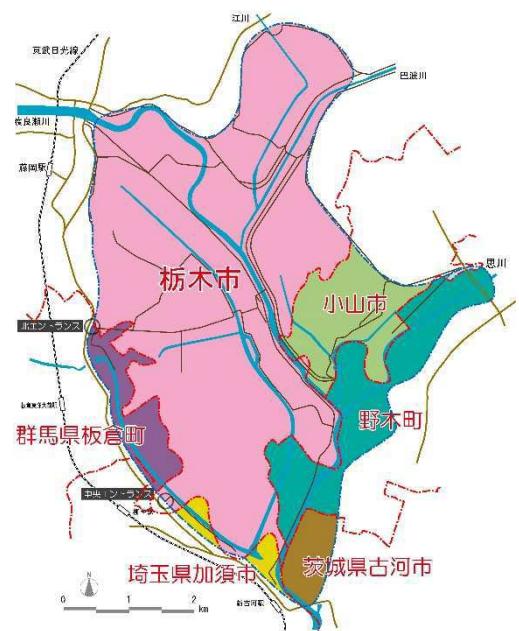
栃木市、小山市、古河市、加須市、野木町、板倉町の4市2町にわたる空間

渡良瀬遊水地は、栃木市にあるハートランドを含み、栃木県の小山市と野木町、茨城県の古河市、群馬県の板倉町、埼玉県の加須市の4県4市2町にまたがったとても広い、全国に類を見ない空間です。治水や利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど、それぞれの分野が全国的にも珍しい環境となっています。

国や4県4市2町など関係するところで話し合いながら渡良瀬遊水地を守り、利活用しています。

【課題】4市2町がさらに協力体制を築き、各市町の関連施設が、それぞれの機能を充実させて相互に連携しながら、渡良瀬遊水地全体として来訪者のニーズに応えていくことで、より魅力的な空間していくことが求められます。

4市2町の区分図



■周辺市町の渡良瀬遊水地に関わる動き■

- 《小山市》では、第1に治水機能確保を最優先とした「エコミュージアム化」、第2に「トキ・コウノトリの野生復帰」、そして第3に「環境にやさしい農業を中心とした地場産業の推進」を「賢明な活用の3本柱」として、平成26年（2014）3月に「渡良瀬遊水地関連振興5ヶ年計画」を策定し、その推進に努めています。
- 《野木町》では、水と緑と歴史を活かした魅力いっぱいのまちづくりを掲げた構想策定を行い、野木町煉瓦窯と隣接して（仮称）交流センターを整備し、交流拠点とともに来訪者の増加を図ろうとしています。
- 《古河市》では、「古河花火大会」や「古河まくらがの里花桃ウォーク」が行われています。
- 《板倉町》には、渡良瀬遊水地のインフォメーションセンターの機能を持つ「わたらせ自然館」があります。館内には渡良瀬遊水地のリアルタイム映像を見ることができる 100 インチモニター、渡良瀬遊水地のジオラマや植物の標本などが展示されています。
- 《加須市》では、ラムサール条約の理念を守りつつ、自然を活かした環境学習などの利活用施策を充実させるために計画を策定中です。現在、施設では「道の駅きたかわべ」が整備されており、毎年、「渡良瀬遊水地まつり in KAZO」などのイベントが行われています。

渡良瀬遊水地の面積の 71.2% が栃木市

4県4市2町にわたる渡良瀬遊水地ですが、その全体面積の 71.2% が栃木市となっていて、他の3市2町と比べても、その面積は断然大きくなっています。（参考：小山市 7.9%、野木町 11.2%、古河市 3.0%、板倉町 4.3%、加須市 2.4%）

また、栃木市は他の3市2町の全てと隣接していて、治水・利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど全ての要素も持ち合わせています。

■ 栃木市における渡良瀬遊水地の位置づけ ■

- 『土地利用構想』の中で、渡良瀬遊水地は「自然環境保全ゾーン」に位置づけられています。
- 藤岡地域のまちづくりの一つとして、「渡良瀬遊水地の保全と活用による活性化」を図るものとされており、次の重点事項が計画されています。
 - ✧ 渡良瀬遊水地の自然環境の保全
 - ✧ サインの整備（案内板等）
 - ✧ 各種情報の発信（施設、イベント、体験等）
 - ✧ 各種イベントの開催（花火、バルーンレース、ボートレース等）
 （「栃木市総合計画」、「栃木市都市計画マスタープラン」より）
- 「渡良瀬遊水地をはじめとした水辺と、森林・里地里山の保全・活用」が、環境基本計画の重点的な取り組みの一つとされており、次の施策が計画されています。
 - ✧ 水辺の保全・再生（ヨシ焼きによる生態系の保全、外来動物への対応、水と触れ合う機会の創出、巴波川・永野川・思川の回廊化など）
 - ✧ 賢明な利用（調査・研究、来訪者を受け入れる環境整備、特徴あるイベントの開催、拠点施設として藤岡遊水池会館の再整備、渡良瀬の里への宿泊機能付加、ヨシズの普及、渡良瀬遊水地関連商品の開発など）
 - ✧ 交流・学習・普及啓発（学習の場の提供、周辺自治体との連携、ボランティアガイド・リーダーの育成、各種活動支援、自然観察会・スポーツイベントの開催など）
 （「栃木市環境基本計画」より）
- 藤岡地域における観光の振興として、次の施策が計画されています。
 - ✧ 体験型観光の環境を整える
 - ✧ 渡良瀬遊水地の特色を活かしたイベント等の開催や誘致を図る
 - ✧ 渡良瀬遊水地を利用した商品を開発する
 - ✧ 谷中湖のハートの形を活かした地域イメージを積極的に発信する
 （「栃木市観光基本計画」より）

3. 人々の命と財産を守っています

利根川流域の生命と財産を守る渡良瀬遊水地



増水した川の水を一時的に貯め洪水被害を防ぐ。そんな、地域と首都圏の安全な生活を支える重要な役割を担っているんだ。

渡良瀬遊水地になる前のこの場所は、谷中村や赤麻沼、石川沼などがありました。その周りには渡良瀬川、巴波川、思川など多くの大小の河川が流れています、洪水被害がとても起こりやすい地域でした。また、足尾銅山の鉛毒被害も発生していました。このため、この地域を遊水地にすることとし、遊水地事業、河川改修事業、調節化事業などが行われ、現在の渡良瀬遊水地となり、洪水から人々の生命と財産を守っています。

【課題】今後も市民の安心安全を守っていくため、渡良瀬遊水地の治水容量をしっかりと確保すること、洪水に対応する堤防の強化が求められます。

《渡良瀬遊水地整備の経緯》

明治 37 年(1904)	県議会可決
明治 38 年(1905) ～40 年(1907)	土地の買収(約 1,000 町歩)
明治 39 年(1906)	谷中村は藤岡町に合併廃村
明治 43 年(1910)	内務省による改修事業開始
大正 11 年(1922)	渡良瀬遊水地主要工事完成
昭和 22 年(1947)	カスリーン台風
昭和 38 年(1963)	調節池化工事着工
平成 2 年(1990)	渡良瀬貯水池(谷中湖)運用開始
平成 9 年(1997)	調節池化事業概ね完成

カスリーン台風による被害のようす



部屋地区の決壊状況



「遊水地」化事業

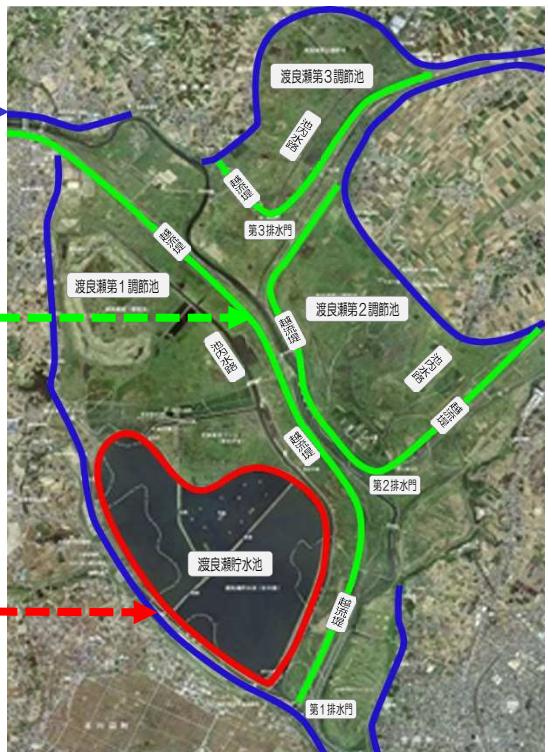
明治 43 年(1910)の大洪水の翌年、渡良瀬遊水地が計画に位置づけられ、明治 44 年(1911)から遊水地化事業に着手。
明治 44 年(1911)～大正 11 年(1922)実施

「調節池」化事業

昭和 10 年(1935)、昭和 13 年(1938)、昭和 22 年(1947)と、大洪水が発生したことをふまえて遊水地をより効率的に活用するため、昭和 38 年(1963)に調節池化事業に着手。
昭和 45 年(1970) 第 1 調節池概成
昭和 47 年(1972) 第 2 調節池概成
平成 9 年(1997) 第 3 調節池概成

「貯水池」化事業(総合開発事業)

洪水調節や流水の正常な機能の維持及び都市用水(水道用水)の新たな確保を目的とした、多目的ダム建設事業として、昭和 51 年(1976)に着手し、平成 2 年(1990)に概成し運用開始。



4. 首都圏の水不足に備えています

いざという時に首都圏に供給される渡良瀬遊水地の水



首都圏が水不足になった時、すぐに水を送れるように、谷中湖にいっぱい水を貯めているんだ。

渡良瀬遊水地にある渡良瀬貯水池（谷中湖）には、首都圏が水不足になった時に、すぐに水を供給できるように東京ドーム約22杯分の水を貯めています。また、渡良瀬貯水池（谷中湖）は河川上流にあるダム群には無い、「広大な集水面積を持っている」「水不足の地域から近い」という利点を持っているので、下流の住民にとって非常に心強い施設となっています。

【課題】今後も安全な水を供給するため、利水の役割をもつ渡良瀬貯水池（谷中湖）の水質の維持・向上が求められます。

渡良瀬貯水池（谷中湖）の概要

面 積	4.5km ²	東京ドーム約 100 個分
総貯水容量	2,640 万 m ³	東京ドーム約 22 杯分
開発水量	21.6 万 m ³	(日量) 約 64 万人分

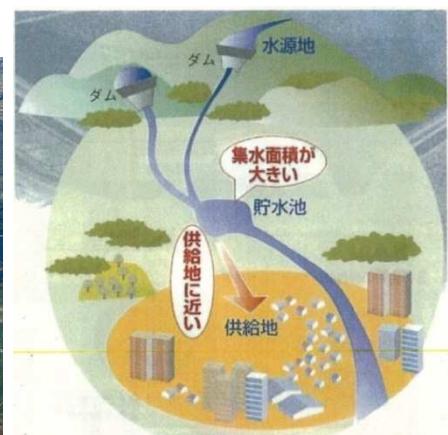
日本初の平地型ダム 渡良瀬貯水池（谷中湖）

洪水調節や流水の正常な機能及び都市用水（水道用水）の新たな確保を目的とした、日本初の平地型ダムです。多目的ダム建設事業として、昭和 51 年（1976）に着工し、平成 2 年（1990）に概成し運用が開始されました。

当初は丸い形につくる計画でしたが、谷中村中心部を残し、歴史を後世に伝えようと言う住民の気持ちと行動が実り、谷中村の中心部分をよけて造成することとなったところ、保存された旧谷中村役場の部分がへこみ、まるで「ハート」のような形になりました。偶然とはいえ、このような特徴ある形の施設が、住民の気持ちと行動によってできあがったのです。

【課題】このハート形の池から、仮想の国「ハートランド」を設定し PR を図っています。渡良瀬遊水地を多くの人に好きになってもらうため、このイメージを幅広く周知・浸透させていくことが求められます。

安全な水を首都圏に！



5. 自然と生きものの宝庫です

広大な湿地である渡良瀬遊水地の環境

渡良瀬遊水地は、その面積のうち約半分 1,500ha にヨシ原が広がる、本州以南で最大の湿地となっており、世界的に湿地が減少する中、貴重な存在となっています。ヨシ原を中心に多様な湿生植物が見られ、猛禽類や水鳥等の多様な野鳥、昆虫や小型哺乳類等が生息するなど、豊かな生態系が形成されています。

渡良瀬遊水地内で、治水対策などの整備を行う場合、植生に配慮した護岸としたり、人工の浮島を設置したり、湿地を再生するなど、自然環境への影響を考慮した対策が行われています。



ラムサール条約にも登録された、世界に誇れる湿地で、貴重な自然が広がる生きものの宝庫なんだ。

ヨシ原（第1調節池）



【課題】渡良瀬遊水地の自然環境は人の手が入って保たれてきました。今後も今までの自然環境を守るために、掘削等による搅乱、ヨシ焼き、外来種駆除など永続的な実施体制が求められます。

重要種・貴重種 <平成27年(2015)1月末日現在>

《植物》約1,000種の植物（約60種類は国指定の絶滅危惧植物）

- 1つの場所に、これだけたくさんの種類の貴重な植物があるのはとても珍しいことです。
- 春の渡良瀬遊水地では、全国的には希にしか見られないトネハナヤスリやエキサイゼリがたくさん群生しています。その他にも、タチスマレやハナムグラ、ヌマアゼスケ、ノカラマツなど、他の場所ではあまり見ることができない植物が、ここでは群生しています。

《野鳥》約260種の野鳥（57種は国指定の絶滅危惧種）

- 冬の渡良瀬遊水地では、ハイイロチュウヒやノスリなどワシ・タカ類をたくさん見ることができます。これまでに25種が確認され、それぞれの個体数が多いことも特徴の一つです。特にチュウヒの越冬地としては日本有数です。
- ヨシ原では多くのヨシキリやオオセッカなどが生息しています。

《昆虫》約1,700種の昆虫（62種は国指定の絶滅危惧種）

- 渡良瀬遊水地には、ワタラセハンミョウモドキやワタラセミズギワリモドキ、イタクラキノメイガなど、渡良瀬や周辺地域の名前のつく昆虫が5種います。

《魚》44種の魚（円口類のカワヤツメを入れると45種）

- 栃木県や群馬県にすむ魚（総数55~62種）のうち、約70~80%が見られます。

【貴重種の宝庫】() 内は環境省第4次レッドリストによるカテゴリー区分

タチスミレ (II類)



ハナムグラ (II類)



ノジトラノオ (II類)



ワタラセツリフネソウ (新種)



チュウヒ (I B類)



サンカノゴイ (I B類)



オオセッカ (I B類)



オオヨシキリ



ワタラセハンミョウモドキ (I B類)



オオモノサントンボ (I B類)



オオルリハムシ (準絶滅危惧)



チョウトンボ



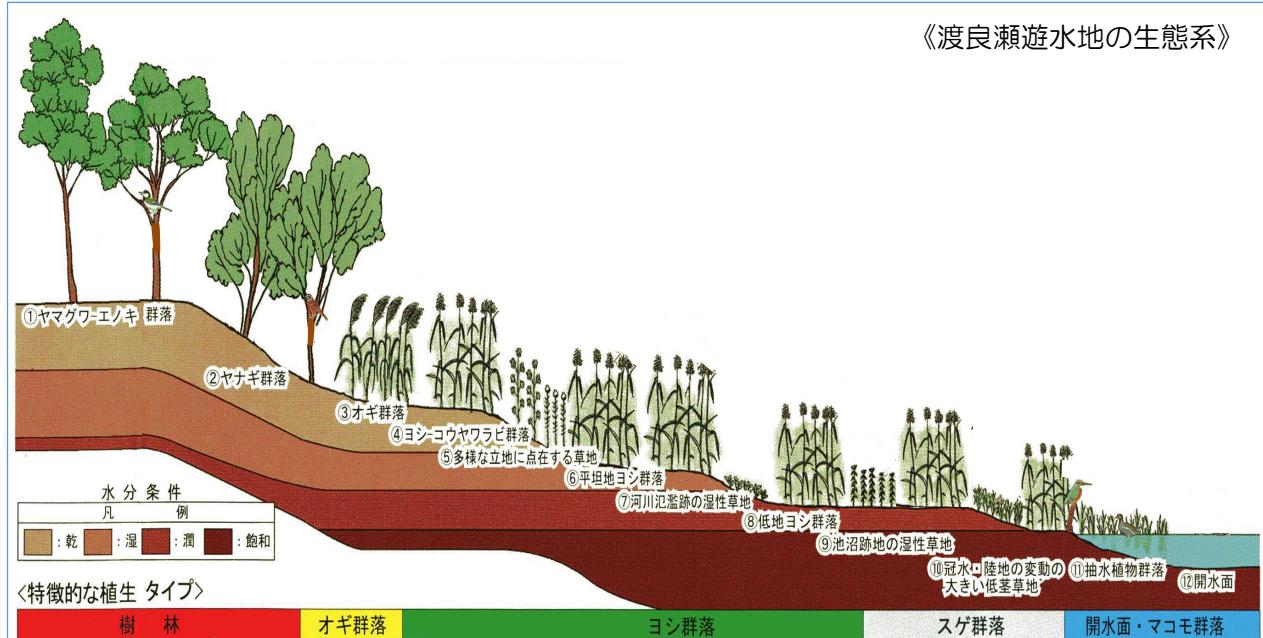
渡良瀬遊水地の保全と再生

国土交通省が中心となって、平成 22 年（2010）3 月に「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画」が策定され、渡良瀬遊水地では治水と環境の両立した遊水地の機能強化を行うこととなっています。特に、第2調節池では湿地の保全と再生を踏まえた事業が進み、環境学習フィールドなどが作られ、学習や研究、利活用も行われています。

湿潤環境形成・水位安定試験地（第2調節池）



《渡良瀬遊水地の生態系》



【課題】このように素晴らしい環境の渡良瀬遊水地ですが、近年は、温暖化や自然遷移により生態系に及ぼす自然環境が変化しているため、その実態を把握する調査を行うとともに、絶滅危惧種を中心とする渡良瀬遊水地の生物が生育するための環境保全が求められます。

- ・子どもから大人まで、幅広いニーズに対応した自然環境学習や自然観察などが気軽に出来る環境を整備するとともに、案内ガイドや学習の指導員が求められます。
- ・渡良瀬遊水地には様々な目的で人々が訪れますので、案内ガイドや学習の指導員などが必要になります。これらを含めて渡良瀬遊水地の賢明な利用に関わる人たちの学習や活動の支援が必要になります。

■ラムサール条約登録湿地 渡良瀬遊水地■

平成 24 年（2012）7 月にルーマニア・ブカレストで開催されたラムサール条約第 11 回締約国会議（COP11）において、「渡良瀬遊水地」（登録湿地面積：2,861ha）が、国際的に重要な湿地の基準に該当したとしてラムサール条約の登録湿地になりました。

●渡良瀬遊水地が該当した国際的に重要な湿地の基準

ラムサール条約には、世界を 8 つに分けた生物地理区内があり、9 つの基準があります。

渡良瀬遊水地はユーラシア大陸・アフリカ北部のエリアの生物地理区で、基準 1 「特定の生物地理区を代表するタイプの湿地、または希少なタイプの湿地」に該当しました。

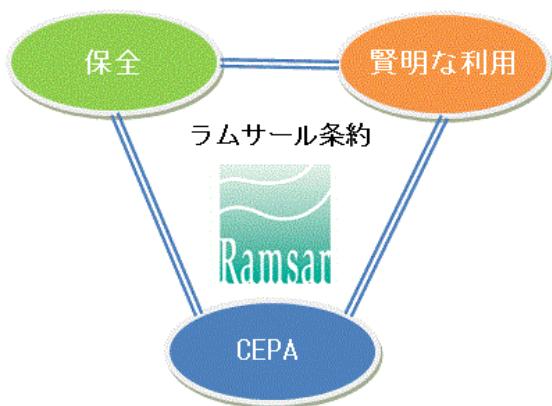
- 本州最大のヨシ原を主体とする湿生草地が存在する低層湿原です。
- 河川の氾濫原を主な成育環境とするトネハナヤスリ、タチスミレなどをはじめとする希少種約 60 種を含む約 1,000 種の豊富な植物種が生育する湿地で、本州以南の低湿地の代表例です。また、環境省レッドリストで絶滅危惧 I B 類に掲載されているチュウヒをはじめとする猛禽類の越冬地やツバメのねぐらとして利用されています。

ラムサール条約とは

昭和 46 年（1971）にイランのラムサールで開催された「湿地及び水鳥の保全のための国際会議」において「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」が採択されました。この条約は開催地にちなみ、一般に「ラムサール条約」と呼ばれています。

日本国内では、46 カ所（137,968ha）が登録されています。（平成 24 年（2012）8 月 10 日現在）

ラムサール条約の 3 つの柱



CEPA とは

対話（情報交換等）、教育、
参加、啓発活動のことです。

（Communication, Education,
Participation and Awareness）



日本のラムサール条約登録湿地

6. さまざまな歴史が関わっています

谷中村の歴史

《当時の谷中村の状況》

- 谷中村は、渡良瀬川、巴波川、思川に挟まれた沼地や湿地が広がる地域に位置し、周辺に比べて地盤の高さが低く水害を受けやすいため、村の周囲には^{かこいづみ} 囲堤^{みづか} が築かれていきました。谷中村や周辺の村では、各家で洪水に備えて『水塚』や『揚舟』などがありました。
- 村では、稻作、畑作のほか、多くの池沼や水路を活かし、魚捕りや湿地の植物ヨシ、スゲを使ったヨシズ編み、スゲ笠作り、養蚕業なども行われていました。

《廃村になった谷中村と現在の状況》

- 常に洪水の被害に見舞われていた谷中村周辺地域では、明治 20 年（1887）代の足尾鉱毒問題をきっかけとして遊水地化の意見が出され、河川の氾濫被害を無くすため、渡良瀬川下流部に遊水地を造る計画が打ち出されました。
- 遊水地化の計画は谷中村を中心とした地域で、明治 38 年（1905）から栃木県が買収を進め、明治 39 年（1906）に谷中村は藤岡町（現・栃木市）に合併され廃村となりました。旧谷中村（下宮、内野）の一部には現在も旧村民の子孫の方が住んでいます。

- 旧谷中村の一部の下宮地区には遊水地化によって河川から陸地となった、全国的に珍しい、平地の3県境（栃木県、群馬県、埼玉県）があります。



旧谷中村の人たちの協力の上に、渡良瀬遊水地ができたんだ。

水塚



揚舟



当時の谷中村（雷電神社）



当時の谷中村（大正期の邸宅）



平地の3県境



- 旧谷中村の中心部は、「谷中村史跡保全ゾーン」として、^{みづか}水塚や史跡（役場跡、雷電神社跡、延命院跡、谷中墓地等）が保全されています。

【課題】 谷中村の史跡群の保存体制を整えるとともに、案内ルートの設定や案内板などによる分かりやすい環境整備、情報発信などが求められます。

谷中村史跡保全ゾーン



田中正造

- 田中正造は、渡良瀬川の魚や農作物に大きな被害を与えて社会問題にまで広まった足尾鉛毒問題を国会で取り上げ、明治34年（1901）には衆議院議員を辞職し、天皇に直訴しました。
- 田中正造は、天保12年（1841）佐野市小中町で生まれ、栃木新聞（現・下野新聞）編集長を経て、県会議員となりました。明治23年（1890）第1回総選挙で衆議院議員に選ばれ、谷中村の遊水地化への反対など足尾鉛毒問題などに取り組み、大正2年（1913）に72歳でその生涯を閉じました。

地域の伝統

- 渡良瀬遊水地のヨシは、ヨシズなどの地場産業として地域の生活・文化に大きく関わってきました。こうした貴重な財産としての渡良瀬遊水地の環境を守るため、年に1度、“ヨシ焼き”が行われています。ヨシ焼きは、湿地や自然の保全・再生などに不可欠なものとなっています。

【課題】 貴重な地域資源であるヨシを活かした地場産業の活性化や、ヨシ焼きの維持に向けた取り組みが必要です。

ヨシズづくり



ヨシ焼き



7. 多くの人が憩い楽しむ空間です

全国でも類を見ない遊水地の特別な空間

《レジャー・スポーツ》

- 渡良瀬遊水地では、その広大な面積と平地にあるダムでありながら、みんなが楽しめる空間が有ると言う特徴から、スカイスports、ウォータースports、自転車、マラソン、乗馬、釣り、バーベキューなどが行われています。渡良瀬遊水地は、これらのものが日常的に誰でも楽しめる全国的に非常に珍しい空間です。
- 特にスカイスportsは、「日本で一番自由な空」とも言われる渡良瀬遊水地の空間を利用して、1年中空を飛ぶことができるため、「スカイダイビング」「熱気球」「ウルトラライトプレーン」「グライダー」などが盛んに楽しめています。
- レジャー・スポーツの大会も盛んに行われています。
【バルーンレース（熱気球）、タイムトライアルレース（自転車）、ヨット、ボート、トライアスロン、マラソンなど】

《イベント》

- 渡良瀬遊水地では、様々なイベントが開催されています。
【桜まつり（4月）、渡良瀬ロックフェスティバル（8月）、渡良瀬遊水地フェスティバル（9月）など】



ウォーキング大会

渡良瀬ロック
フェスティバル



広大な自然や親水空間で、年間約100万人の人が、自然観察やレジャー・スポーツを楽しんでいるよ。

スカイスports（スカイダイビング）



ウォータースports（カヌー、ヨット）



自転車（ロードバイク）



バルーンレース（熱気球）



渡良瀬遊水地フェスティバル



《観察会・学習会》

- 渡良瀬遊水地では、貴重な自然を楽しんでもらい、大切に保全していくために、植物、野鳥、昆虫などの観察会や学習が1年をとおして、数多く行われています。

昆虫観察会



植物観察会



《飲食物、お土産》

- 渡良瀬遊水地では、飲食物などを販売する売店が1軒ありますが、年間を通して営業されています。これを補うものとして、地域のお店で作られる「ビッグハート弁当」の渡良瀬遊水地内への配達システムがあります。
- ハートの形を活用した飲食物やお土産が販売されています。

ビッグハート弁当



【課題】スカイスポーツ、ウォータースポーツなどの特徴的なレジャー・スポーツが、それぞれの特徴を活かして楽しめる環境の整備が求められます。

- ・各種団体の利用ルール「渡良瀬遊水地ルール＆マナー」に加え、個人利用者も楽しくスポーツ等ができるようなルールや体制が求められます。
- ・渡良瀬遊水地は広大で様々な側面を持っています。それらの環境を保全していくためには渡良瀬遊水地を守る人材の育成、確保が必要になるため、学習、教育環境の整備や市民や団体などの各種活動への支援が必要になります。
- ・来訪者に提供できるお土産や飲食物について、来訪者のニーズに応えられていないため、渡良瀬遊水地に関連した独自の商品を開発して提供する必要があります。

8. 渡良瀬遊水地を学び楽しむ施設です

展示や体験学習等により、渡良瀬遊水地の魅力を感じてもらえる施設は下記の通りです。

施設名称	休館日	施設内容					
		展示			会議室等	体験学習	その他
		写真	模型	実物	規模(人)		
栃木市藤岡遊水池会館	土日祝				大会議室 170 中会議室 70		
渡良瀬遊水地湿地資料館	月	○	○	○	研修室	学習支援	DVD 上映
藤岡スポーツふれあいセンター	月	○	○	○	研修室		DVD 上映
体験活動センターわたらせ (渡良瀬遊水地子供広場ゾーン)	月				会議室 50×2 室	体験活動 支援	DVD 上映
展示スペース (渡良瀬遊水地子供広場ゾーン)	月	○	○	○			
売店 (渡良瀬遊水地子供広場ゾーン)	4~11月の 土日祝のみ営業						飲食物 の販売
周辺	わたらせ自然館	月火祝	○	○	○		DVD 上映
	古河歴史博物館	祝日の翌日、 第4 金					谷中村 資料
	北川辺スポーツ遊學館 (道の駅きたかわべ)	月	○		○		DVD 上映 直営・レストラン

※年末年始は各施設休館となります。

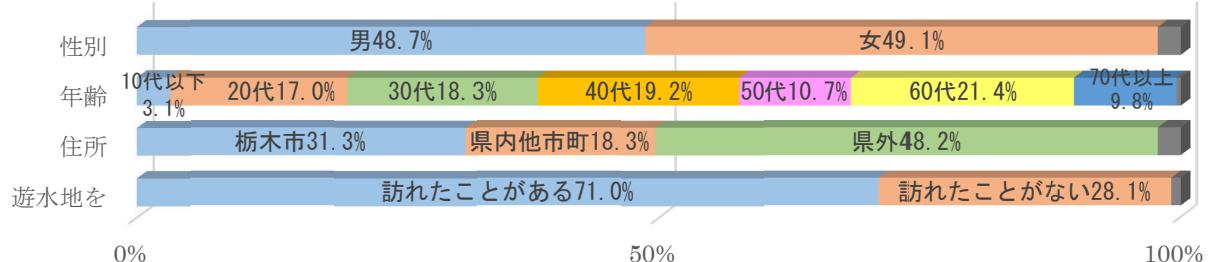


【課題】渡良瀬遊水地は広大で、季節に応じて多種多様な体験や活動が行われているため、情報を整理して分かりやすく発信する案内施設が求められます。

9. みんなの声（アンケート調査結果）

渡良瀬遊水地内や都内でのイベントや各種行事等の来場者・参加者、合計 224 人から、ご意見を頂きました。

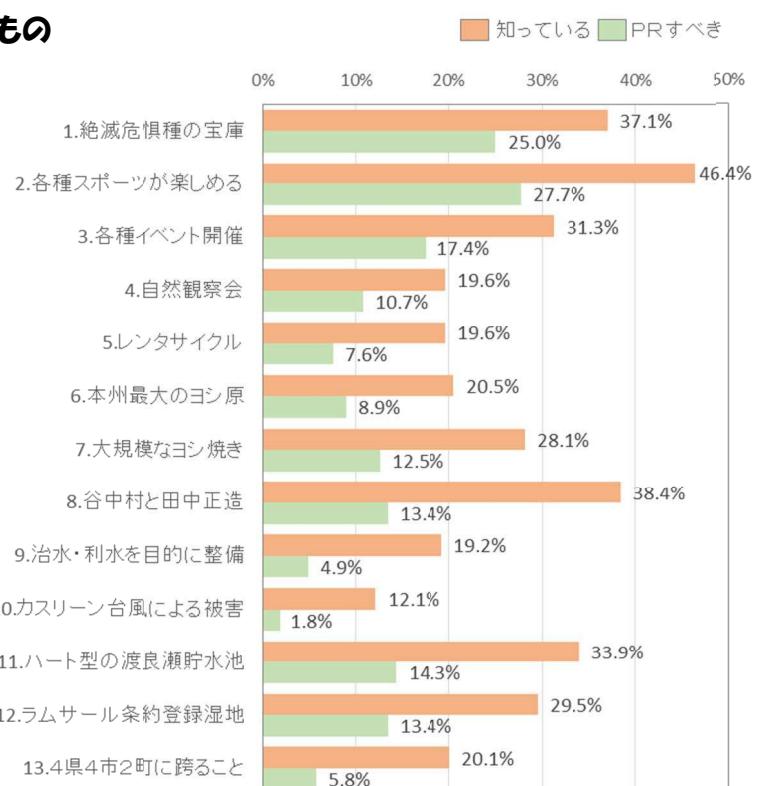
答えてくれた人の内訳



知っているものと、PRすべきと思うもの

良く知られているのは、「各種スポーツが楽しめる」「谷中村と田中正造」「絶滅危惧種の宝庫」です。

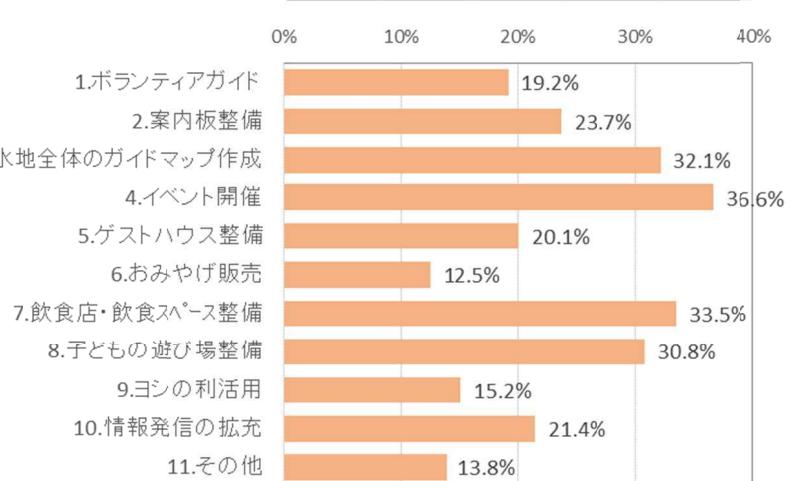
多くの人がPRすべきと感じているのは、「各種スポーツが楽しめる」「絶滅危惧種の宝庫」「各種イベント開催」です。



渡良瀬遊水地に期待するもの

今後、渡良瀬遊水地に期待するものは、「イベントの開催」「飲食店・飲食スペース整備」「ガイドマップ作成」「子どもの遊び場整備」が高くなっています。

情報発信やゲストハウス、ボランティアガイド等の案内機能を望む声も聞かれました。



3章 ハートランドの国づくり

1. ハートランドの将来像

ハートランドの国づくりを進めるに当たり、その目標をキャッチフレーズとして表現します。

- ハートランドの舞台となる渡良瀬遊水地は、治水と利水において地域と首都圏の安全な生活を守り、また環境的にも非常に貴重な空間を形成し、まさに地域の「宝」として守って行かなくてはなりません。ハートランドの国づくりにおいて、最も重要な考え方とします。
- この貴重な空間は、多くの人に親しまれ、癒しを与え、またその環境や歴史そのものが有意義な成果をもたらしており、地域全体のこれからのかづくりに夢をもたらすものとして期待されています。
- 治水と利水を前提とした今の環境保全を第一とし、それをこわさないよう上手に活用していくことで、自然と生きものの豊かな環境と、それを活用する人・地域が共存し、さらに夢を描くことができる、そんな「楽園」を実現したいという思いを込めた将来像とします。

《将来像》



～ 渡良瀬遊水地の宝を守り 夢を未来へつなげる～
人と自然の楽園・ハートランド

2. ハートランドの国づくりの方針

将来像は、次の5つの「国づくりの方針」により成り立っています。ハートランドはどんな国なのか、どんな姿勢で国づくりに臨むのか、ハートランドの進むべき道を示しています。

《将来像》

渡良瀬遊水地の宝を守り夢を未来へつなげる
人と自然の楽園・ハートランド



《国づくりの方針》

- 今を守ります
- 守り人を大切にします
- 連携を大切にします
- 地域を輝かせます
- 未来に繋ぎます

ハートランドは今を守ります

ハートランドで一番大切なこと、それは今の環境を守ることです。

渡良瀬遊水地は、平成24年（2012）7月にラムサール条約の登録湿地に登録され、栃木市、県、国、世界の宝となりました。治水、利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなどを含めた今ある環境が宝であり、守りたいものです。長年の出来事、嘗みで今の環境が出来上がり、それをみんなで守っています。この今をみんなで守り続けましょう。

ハートランドは今の環境をしっかり守ります。

ハートランドは守り人を大切にします

渡良瀬遊水地は、とても広いです。そして、いろいろなものが沢山あります。守つていかなければならぬことやさらに進めて行くことなど、やらなければいけないことがいっぱいです。これには多くの人の力が必要になります。治水のこと、自然のこと、歴史のこと、レジャー・スポーツのことなど、多くのことに多くの人の力が必要となります。人口が減っていくと推定されているなか、渡良瀬遊水地の守り人を育て、確保していくことが大切です。そして、その守り人がしっかりと活動できる環境を整えることも必要になります。

ハートランドでは、この守る人たちを渡良瀬712（ナイツ）と呼びます。ハートランドを守る者たちです。みんなで力を合わせて守ります。

渡良瀬712（ナイツ）の名前は、栃木市の渡良瀬遊水地に占める面積が71.2%であることから来ています。

ハートランドは、渡良瀬遊水地の守り人を大切にします。

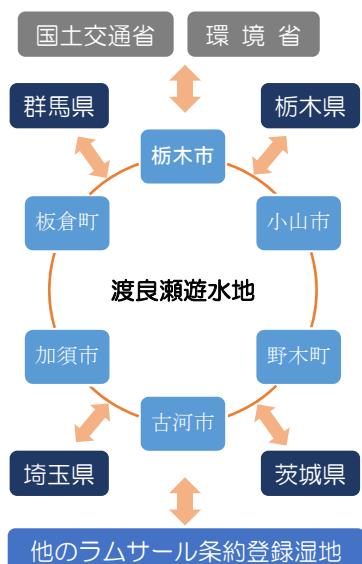


ハートランドは連携を大切にします

渡良瀬遊水地は、ハートランドのエリアである栃木市が占める面積の71.2%のほか、野木町（構成率11.2%）、小山市（同7.9%）、板倉町（同4.3%）、古河市（同3.0%）、加須市（同2.4%）の4市2町で構成されており、栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県が関係しています。また、国土交通省や環境省など国の機関や様々な個人や団体も関係しています。

渡良瀬遊水地は、決して誰かのものではありません。バラバラでは渡良瀬遊水地が本来の輝きを失ってしまいます。関係するみんなで力を合わせることが必要です。

ハートランドは、関わる皆さんとの連携を大切にします。



ハートランドは地域を輝かせます

ハートランドでは、渡良瀬遊水地を多くの人に知ってもらい、多くの人が渡良瀬遊水地に来て様々な体験や学習を行ってもらうための取り組みを行っていきます。様々な取り組みを行うことで、人と人が出会う機会が増え、人や団体の交流が活発となります。人が集えば様々な個人、団体、企業の活動が活発化しますので、地域が輝いていくことになります。

また、渡良瀬遊水地が活発化することで、渡良瀬遊水地が宝物であるとの気持ちを持っている地域の人たちが活動できる環境が作られ、生きがいをもって関わることが出来るようになります。

渡良瀬遊水地に来られた方に「来てよかったです」と満足してもらえるような、「また来よう」と思ってもらえるような環境、それに取り組む人が楽しく活動できる環境を作り行きます。

ハートランドは、地域を明るく楽しく輝かせます。

ハートランドは未来に繋ぎます

ハートランドでは、治水、利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなどに関連して、様々なことが行われています。そして、我々はそれらを残そうとし、そのために様々な取り組みを行います。

渡良瀬遊水地のこの姿を未来に残すためには、これらの考え方、取り組みを継続して行かなければなりません。これから先に守るために困難なことも出てくるでしょう。でも、それに負けるわけにはいきません。しっかりとビジョンを持ち、しっかりした体制の構築が必要になります。

ハートランドは、どんな困難が有っても今の環境を未来に繋ぎます。



3. ハートランドの国づくりの柱

国づくりの方針を実現するための個別の取り組みを、その目指す内容によって次の5つの大きな柱にまとめます。いわば、将来像を支える大黒柱であり、そこから枝分かれする個別取り組みを実現していくことにより、ハートランドの夢は実現へと向かいます。



治水・利水を進めます

- 水に関わる安全性を高めるという渡良瀬遊水地本来の機能を発揮します



自然と歴史を受け継ぎます

- 渡良瀬遊水地の持つ豊かな自然と、地域や人々の歴史を守り、残していきます



レジャー・スポーツを楽しめます

- 全国でも類を見ない空間でレジャー・スポーツを楽しめる環境を活かします



おもてなしの環境を育みます

- 地域が一丸となって魅力を伝え、来たい・来て良かったと思われる環境を支えます



誇りを抱いて交流します

- 周辺市町とともに、世界に誇れる環境を活かした交流の環をさらに広げていきます

■ハートランドは5つの特徴ある空間から成り立っています■

《第1調節池》

渡良瀬貯水池（谷中湖）・子供広場や運動公園・ゴルフ場など、自然を活かしたレジャー・スポーツ・交流の場

《第2調節池》

遊水地の治水機能を確保しつつ、湿地や豊かな自然環境の再生とその有効活用を図る場

《第3調節池》

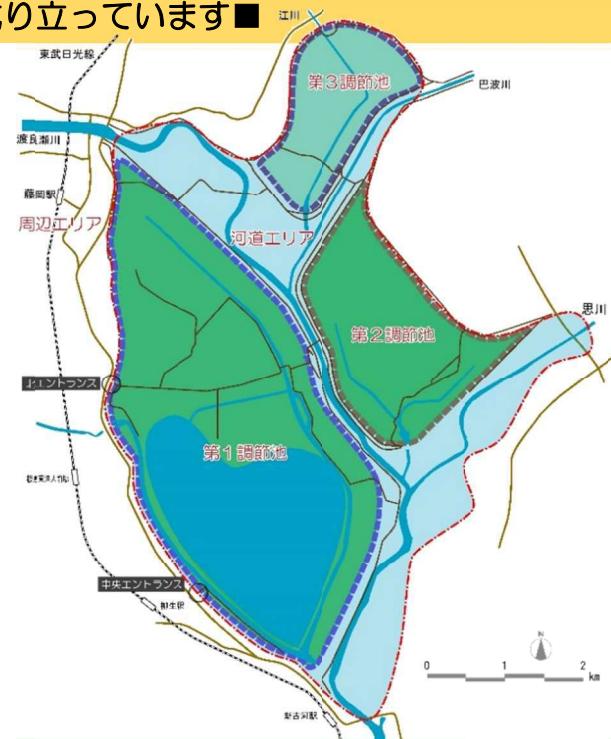
広大なヨシ原と多様な湿地の保全と研究・学習等の活用を図る場

《河道エリア》

河川空間を活かした親水環境づくりを図る場

《周辺エリア》

渡良瀬遊水地周辺においてアクセス環境や地域のおもてなし・活性化などを図る場



■ハートランドを愛し、守り、支える、そんな心強い味方が「渡良瀬ナイス12」です■

ハートランドの“守り人”たち、みんながいきいきと活動することによって、ハートランドの物語は生まれ、魅力ある場となり、さらには人を惹きつけます。

《利用者・来訪者》

貴重な自然・生態系等の研究・観察や、豊かな自然を舞台にしたレジャー・スポーツ、散策やサイクリングなど、渡良瀬遊水地を利用し、訪れる人たち。より多くの人に来てもらい、ルールを守りながら楽しく、有意義な活動をしてもらえる環境づくりを目指します。

《地域住民》

渡良瀬遊水地を生活の一部として訪れ、利用してきた地域住民。渡良瀬遊水地の良さや課題などを知る地域住民が、さらに渡良瀬遊水地を訪れ、また訪れる人に対しておもてなしженできる環境づくりを目指します。

《栃木市民》

これまでの地域資源に加え、世界に誇れる渡良瀬遊水地という魅力が加わったことで、栃木市としてのまちづくりの幅が大きく広がります。市内のさまざまなネットワークにおいて、市民が渡良瀬遊水地を身近に感じ、大いに利用できる環境づくりを目指します。

《周辺住民》

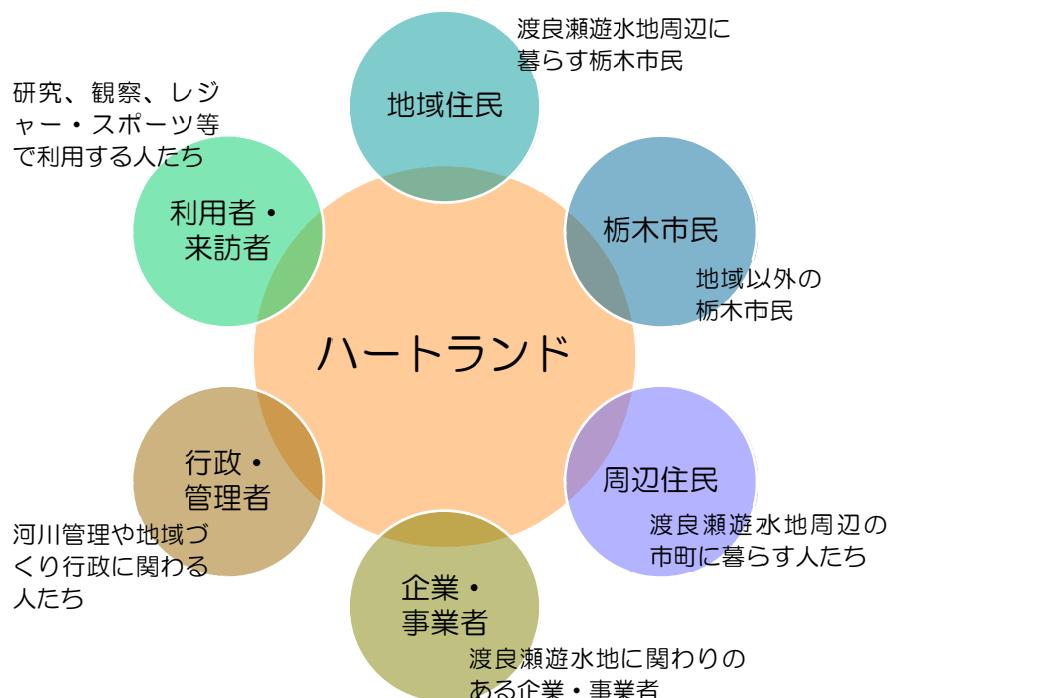
渡良瀬遊水地という環境を同じく生活を営んできた周辺市町の人たちと協力しながら、渡良瀬遊水地を盛りあげ、首都圏、さらに広く魅力をアピールしていくよう、連携の強化を目指します。

《企業・事業者》

渡良瀬遊水地のイベントなどに参加している、関連している、もしくはその可能性がある企業・事業者と協力しながら、多様な魅力を生み出していくため、連携や協力体制づくりを目指します。

《行政・管理者》

治水・利水や環境保全、ルールの順守など、公共としての基本姿勢を維持しながら、さまざまな主体と連携・協力することにより、新たな地域づくり・まちづくりの実現を目指します。



4章 渡良瀬ナツイツの誓い

ハートランドプラン

ハートランドを舞台に活躍する・支える人=守り人“渡良瀬ナツイツ”がよりどころとし、国や周辺市町、団体などと協力して実施する行動メニュー・行動規範を“誓い”として体系的にまとめます。

誓い一 治水・利水を進める

《誓いごとの実施項目》 *項目名は一部要約して掲載

誓い① 人々を水害から守る

- ①-1 安全な治水環境づくり
①-2 治水環境の情報発信

- ①-3 防災拠点・緊急避難地の整備、管理

誓い② 人々が安全に水を使える環境を支える

- ②-1 水の利用環境づくり
②-2 利水環境の情報発信

- ②-3 ヨシ原浄化施設の保全活動

誓い二 自然と歴史を受け継ぐ

誓い③ 自然や生きものたちの今を知る

- ③-1 植物、野鳥、昆虫、水生生物の調査
③-2 利活用実態やニーズの調査

誓い④ 自然や生きものたちを守る

- ④-1 ヨシ焼きの実施
④-2 外来種の駆除
④-3 貴重種の保護

誓い⑤ 自然や生きものたちと親しむ

- ⑤-1 観察会、学習会の開催
⑤-2 観賞用スペースの確保
⑤-3 PRと安全な利用環境整備
⑤-4 観察マナーの周知・啓発

誓い⑥ 歴史に学び伝える

- ⑥-1 歴史資源の調査
⑥-2 史跡等の保全
⑥-3 渡良瀬遊水地内の習俗、文化の継承

誓い⑦ 守り・受け継ぐ体制をつくる

- ⑦-1 環境保全体制の構築
⑦-2 パトロール体制の構築
⑦-3 環境学習、体験学習の開催
⑦-4 指導者の養成

誓い三 レジャー・スポーツを楽しむ

誓い⑧ 空と親しみ楽しむ

- ⑧-1 スカイスポーツ環境整備
⑧-2 観覧・交流スペース整備
⑧-3 簡単に楽しめる体制構築

誓い⑨ 水と親しみ楽しむ

- ⑨-1 ウォータースポーツ環境整備
⑨-2 カヌー、周遊船の水路整備
⑨-3 安全体制の整備
⑨-4 指導者の養成

誓い⑩ 陸(おか)での活動を楽しむ

- ⑩-1 サイクリング、マラソン、ウォーキングなどを楽しむ環境整備
⑩-2 魅力的な運動公園の整備

誓い⑪ 自然とふれあえる空間をつくる

- ⑪-1 散策路の整備
⑪-2 「せせらぎ水路」の再整備

誓い⑫ 憩いの場を確保する

- ⑫-1 スポーツふれあいセンターの維持管理
⑫-2 憩い空間の創出

誓い四 おもてなしの環境を育む

誓い⑬ ハートランドのシンボルをつくる

- ⑯-1 シンボル施設の整備（総合的なビジターセンター機能）

誓い⑭ ハートランドに来やすくする

- ⑯-1 ハートランドイメージ利活用
⑯-2 藤岡駅からのアクセス環境整備
⑯-3 クルマで来やすい環境整備

誓い⑮ 守り人：渡良瀬ナツイツを育てる

- ⑯-1 各種ボランティア・指導者の養成

誓い⑯ ハートランドに親しむきっかけをつくる

- ⑯-1 ハートランドのイメージを活かしたキャラクター展開

誓い⑰ 地域らしい“おもてなし”をふるまう

- ⑯-1 食のおもてなし
⑯-2 地域の施設などを活用したおもてなし
⑯-3 地域住民のおもてなし

誓い五 誇りを抱いて交流する

誓い⑱ ハートランドの活動を盛りあげる

- ⑯-1 ハートをモチーフにした商品やサービスの開発・提供
⑯-2 企業との連携
⑯-3 イベントの開催拡充

誓い⑲ ハートランドをとりまく人・地域とつながる

- ⑯-1 周辺自治体・国とのつながり
⑯-2 学校・地域とのつながり
⑯-3 団体などとのつながり
⑯-4 他の地域とのつながり

誓い⑳ ハートのこもったメッセージ・物語を贈る

- ⑯-1 ハートランドの情報発信
⑯-2 メディアとの連携
⑯-3 フィルムコミッションの体制整備
⑯-4 他の地域とのつながり

誓いー：治水・利水を進める

誓い① 人々を水害から守る

①-1 安全な治水環境づくり 全体

渡良瀬遊水地は、全体を堤防で囲まれ、洪水時には水を一時的に留めるダムの機能を持ち、周辺住民はもとより首都圏の下流住民の生命財産を守っています。人々の安心感、河川の安全性を高めるため、堤防の強化に努めます。

また、渡良瀬遊水地内には、上流からの土砂やゴミ等が堆積したり、樹木が繁茂したりしますので、掘削や伐採などを行うことで、貯水量が確保されるようにします。

国と協力して各種事業を継続的に実施して、人々を水害から守っていきます。

越流堤



越流状況



西前原排水機場



①-2 治水環境の情報発信 全体 周辺

治水に関する現状や今後の整備計画の情報発信を行っていくとともに、避難場所、緊急避難地、防災拠点などに関する情報を分かり易く提供することで、人々を水害から守ります。

渡良瀬遊水地洪水時



①-3 防災拠点・緊急避難地の整備、管理

全体 周辺

万が一水害が発生した場合、先ずは生命を守ることが第一になります。必要な防災拠点や緊急避難地を整備して、適切に管理します。

誓い② 人々が安全に水を使える環境を支える

②-1 水の利用環境づくり

第1調節池

河道

巴波川

渡良瀬遊水地は、利水の機能を持ち、いざという時にいち早く水を供給できるようになっています。各種河川から流入して貯水される水は、そのままでは決して良い状態とは言えませんが、浄化するために様々な工夫がされて水質が維持されています。国と協力し、更に水質向上に努めます。

②-2 利水環境の情報発信

全体

周辺

渡良瀬遊水地が首都圏の渴水期における重要な役割を担っていることや水質に関することなど、利水環境の情報発信を適切な範囲と内容で行っていくことで、人々に重要性を伝えます。

②-3 ヨシ原浄化施設の保全活動

第1調節池

ヨシ原浄化施設は、渡良瀬貯水池（谷中湖）の水質保全に重要な役割を担っています。渡良瀬遊水地のヨシの機能を学習・認識するとともに、谷中湖の水質の向上を図ります。



渡良瀬貯水池機場



ヨシ原浄化施設



池内水路



誓い二：自然と歴史を受け継ぐ

誓い③ 自然や生きものたちの今を知る

③-1 植物、野鳥、昆虫、水生生物の調査 全体（特に

第1調節池

第2調節池

第3調節池）

渡良瀬遊水地には、植物や野鳥、昆虫を始め多くの生物が生育、生息していますが、あまりにも広大であり、河川区域ということもあるため、その実態、現状が把握しきれていません。渡良瀬遊水地の自然環境を保全していくために、実態や現状を把握する調査を行います。

③-2 利活用実態やニーズの調査 全体

渡良瀬遊水地では、住民、機関、団体などが様々な形で利活用を行っていますが、その実態が把握されていないため、ニーズに対応出来ていません。実態、ニーズを定期的に把握し、自然環境を活かした適切な対応を行います。

誓い④ 自然や生きものたちを守る

④-1 ヨシ焼きの実施 全体

渡良瀬遊水地の自然環境は、ヨシ焼きによって守られていると言えるくらい、ヨシ焼きは、自然環境を保全するために、大変重要な役割を担っています。人口の減少や高齢化により、ヨシ焼きを実施している地域住民の負担が大きくなっているため、実施方法の検討を含め、植物や野鳥などの動植物にも配慮した、ヨシ焼きの永続的な実施に向けて取り組みます。

自然環境保全（ヨシ焼き）



④-2 外来種の駆除 全体（特に 第1調節池 第2調節池 第3調節池）

渡良瀬遊水地は、近年、外来種の進入が著しく、絶滅危惧種を含めて生育環境が脅かされています。渡良瀬遊水地特有の自然環境を守るために、これら外来種を適切な方法で駆除します。



外来種駆除活動

④-3 貴重種の保護 全体（特に 第1調節池 第2調節池 第3調節池）

渡良瀬遊水地には、国指定絶滅危惧種を含む貴重な植物が生育していますが、現状は保護のための対策が講じられていません。近年、貴重な植物の盗掘が見受けられるようになってきたため、法的な整備や盗掘防止に向けた対応を行います。

誓い⑤ 自然や生きものたちと親しむ

⑤-1 観察会、学習会の開催 全体（特に 第1調節池 第2調節池）

渡良瀬遊水地では、様々な主催者により各種の観察会や学習会が開催されています。内容的にもレベル的にも幅広く、誰でも参加できるような観察会、学習会を開催します。

⑤-2 植物、野鳥、水生生物の観賞用スペースの確保 第1調節池 第2調節池

植物、野鳥、水生生物など自然の生きものたちをより身近に感じてもらうために、観察ができるスペースを周辺の自然環境を守りながら確保します。

⑤-3 鷺見台など観察スポットのPRと安全な利用環境整備 第1調節池 第2調節池

鷺見台や中の島など渡良瀬遊水地内には、生きものの観察スポットが用意されていますが、PRが不足しているとともに、利用環境が整備されていません。

観察スポットのPRに努め、観察を行うために必要な利用環境を整備します。

⑤-4 観察マナーの周知・啓発 全体 周辺

渡良瀬遊水地では、様々な自然観察がされていますが、植物の自生地を荒らしてしまったり、行き過ぎた観察が野鳥の巣に影響を与えたたりするなど、一部の利用者には観察マナーが守られていないこともあります。

自然環境を守るために、観察マナーの周知・啓発を行います。

誓い⑥ 歴史に学び伝える

⑥-1 渡良瀬遊水地内に存在する歴史資源の調査 第1調節池

渡良瀬遊水地は、谷中村の史跡を始めとして貴重な歴史的資源がありますが、調査が不足している部分も見られます。歴史的資源を後世に残すために調査を行います。

⑥-2 谷中村に関する史跡等の保全 第1調節池

谷中村史跡保全ゾーンには、谷中村に関する史跡等がありますが、これら史跡の保全については未整備な部分が多くあるため、しっかりと将来に伝えられるような整備を行い保全に努めます。

合同慰靈碑



雷電神社跡



⑥-3 渡良瀬遊水地内の習俗、文化の継承 全体（特に 第1調節池）周辺

渡良瀬遊水地を中心としたエリアは、昔から洪水常襲地帯であったことから、洪水への備えとして、みづか あげぬね水塚や揚舟などが作られている特徴的な習俗が見られます。このエリアの文化的な部分を歴史から学び、検証し、継承していきます。

誓い⑦ 守り・受け継ぐ体制をつくる

⑦-1 環境保全体制の構築 全体 周辺

渡良瀬遊水地は、豊かな大自然の中、国指定絶滅危惧種を多く有する自然環境を持ち、また、歴史的に貴重な史跡を持つにも関わらず、これらを保全するための体制が構築されていないため、これらの環境を保全する体制を構築し守ります。

豊かな大自然の環境



⑦-2 渡良瀬遊水地内パトロール体制の構築 全体 周辺

渡良瀬遊水地では、国土交通省が委託により、河川管理施設や状況を監視するために定期的なパトロールを実施しています。渡良瀬遊水地の自然環境、利活用環境を守るために、渡良瀬遊水地内を見守る体制が必要となるため、パトロールについて、目的、方法、内容などを検討し、効果的な体制の構築を図ります。

⑦-3 渡良瀬遊水地の価値を知るための環境学習、体験学習の開催

第1調節池

第2調節池

渡良瀬遊水地では、様々な機関や団体、学校等が目的を持ち環境学習、体験学習を行っています。この取り組みを把握し、機関や団体、学校等と連携するとともに、環境学習、体験学習などを必要に応じて主体的に開催します。

各種環境、体験学習



⑦-4 指導者の養成 全体 周辺

渡良瀬遊水地の様々な環境を保全するためには、多くの人の理解が必要となるとともに、その指導者の役割が重要です。

現在、渡良瀬遊水地での取り組みについては、自然、歴史分野の指導者が不足しているので、指導者の養成を行います。

誓い三：レジャー・スポーツを楽しむ

誓い⑧ 空と親しみ楽しむ

⑧-1 スカイスポーツの実施環境整備 第1調節池

スカイスポーツ（熱気球）

渡良瀬遊水地は、全国でも有数なスカイスポーツエリアとして、スカイスポーツの愛好者に親しまれています。しかし、スカイスポーツを誰でもいつでも安全に楽しむ環境は整備されていませんので、スカイスポーツを安心して楽しめる環境整備を行います。

スカイスポーツ
(スカイダイビング)



スカイスポーツ
(グライダー)



⑧-2 観覧・交流スペースの整備 第1調節池

渡良瀬遊水地で行われているスカイスポーツは、いつどこで誰が行っているのかわかりにくく、実際に見たり交流したり出来ていないため、興味を持った人や来訪者が気軽に見られるようにします。

⑧-3 簡単に楽しめる体制の構築 第1調節池 周辺

渡良瀬遊水地で楽しめているスカイスポーツは、何処でも行えるものでは無く、また気象条件の影響を受けやすいため、簡単に楽しめる状況にはありません。

実施場所の確保、気象条件の把握や情報提供など、各種条件の影響を軽減し、誰もが円滑にスカイスポーツを楽しめる体制を構築します。

誓い⑨

水と親しみ楽しむ

⑨-1 ウォータースポーツの実施環境整備・確保

第1調節池

河道

渡良瀬遊水地でのウォータースポーツは、渡良瀬貯水池（谷中湖）の北ブロックを中心に楽しめています。しかし、より多くの人が安全に楽しめるため、水質の安定や乗船場の環境整備・確保を行います。

ウォータースポーツ（Eボート）



ウォータースポーツ（カヌー）



⑨-2 カヌー、周遊船などの水路設定・整備

第1調節池

河道

渡良瀬遊水地内には、いくつもの河川があり、豊かな自然の一部をなしています。しかし、渡良瀬遊水地内の河川は岸に樹木が繁茂し、ゴミが多く見受けられ、せっかくの河川の利活用が図れないとため、これらを解消するとともに、自然を知り、体験するための水路設定を行い、自然を活かした整備をして環境を守ります。

⑨-3 利用ルール・マナーの周知・啓発など安全体制の整備

第1調節池

周辺

渡良瀬遊水地内で楽しめているウォータースポーツや釣りなどの水辺の利用については、危険を伴うので利用に関するルールを徹底する必要があります。利用ルール・マナーを周知・啓発し、更に安全に利用できる体制を構築します。

ルール&マナー告知看板



⑨-4 ウォータースポーツの指導者の養成

第1調節池

河道

周辺

渡良瀬遊水地内には、ウォータースポーツを様々な視点から楽しめる環境があります。しかし、指導者が不足しており、その環境を活かせていない状況にありますので、より渡良瀬遊水地を知ってもらい、体験してもらうために、ウォータースポーツの指導者養成を行います。

誓い⑩

おか 陸での活動を楽しむ

⑩-1 サイクリング、マラソン、ウォーキングなどを楽しむ環境整備 全体（特に
第1調節池 周辺）

渡良瀬遊水地では、日常的にサイクリング、マラソン、ウォーキング、乗馬などが多くの人々に楽しめています。しかし、ルートやルートなどの周知が不足しているため、利用者同士のトラブルも見受けられます。安全に利用できるように、ルートの設定やルート表示整備（案内板・路面表示等）、マップの作成（渡良瀬遊水地内・周辺回遊ルート）を行います。

サイクリング



ウォーキング



乗馬



⑩-2 魅力的な運動公園の整備 第1調節池

渡良瀬遊水地北西にある藤岡渡良瀬運動公園は、スポーツ振興の場、憩いの場として多くの人に利用されています。渡良瀬遊水地の特性を活かした公園の利活用を更に推進するため、公園施設を充実させ、維持管理を行います。

藤岡渡良瀬運動公園エントランス



藤岡渡良瀬運動公園芝生広場



誓い⑪ 自然とふれあえる空間をつくる

⑪-1 散策路の整備 全体

渡良瀬遊水地には、広大な自然が広がっており、そこには堤防上の天端を始め管理用道路などが整備され、散策路として利用されています。散策するために不案内であったり、散策しにくかったりする場所もあるため、それらを解消し、安心して楽しく散策できるように整備します。

⑪-2 「せせらぎ水路」の再整備 第1調節池

藤岡渡良瀬運動公園南側にある「せせらぎ水路」は、設備の老朽化により現在利用が停止しています。運動公園から藤岡遊水池会館の間にあるため、自然と触れ合える空間として利用できるように整備します。

誓い⑫ 憩いの場を確保する

⑫-1 スポーツふれあいセンターの維持管理

第1調節池

周辺

藤岡スポーツふれあいセンターは、とんがり屋根をした特徴のある建物で、このエリアのランドマークです。しかし、訪れた人々のニーズに応えられているとは言い難い状況になっています。散策、レジャー・スポーツなどの休憩所機能を充実させ、レジャー・スポーツの支援を行うとともに、利用情報、レジャー・スポーツの等の開催情報などの発信を行います。

藤岡スポーツふれあいセンター



⑫-2 憩い空間の創出 全体（特に 第1調節池）周辺

渡良瀬遊水地を散策、レジャー・スポーツ、学習などで回遊して利活用する場合、休息する場所を探すことに苦労することがあります。主な回遊ルート上に休息できるような憩い空間を創出し、安心して利活用できるようにします。

誓い四：おもてなしの環境を育む

誓い⑬ ハートランドのシンボルをつくる

⑬-1 シンボル施設の整備（総合的なビジターセンター機能）
全体（特に
第1調節池）周辺

渡良瀬遊水地に初めて来ようとする方からは、「どこを目指して行けばいいのか？」との声が多く聞かれます。広大で様々な要素がある渡良瀬遊水地は、季節や目的で行き先が変わってしまいますが、案内や説明、渡良瀬遊水地を学習するための機能を有する施設がありません。渡良瀬遊水地の各種情報発信や利活用の紹介などの総合的な案内機能をもち、環境や歴史、レジャー・スポーツなどの会議、学習、研修などの活動も行え、飲食・売店なども備えた、利用者の利便性を考慮したシンボル施設を整備します。

また、整備に当たっては、ハートランドのイメージを備えた楽しい空間を創出します。

誓い⑭ ハートランドに来やすくする

⑭-1 ハートランドのイメージの利活用
全体 周辺

渡良瀬遊水地は、ハートランドとしてのイメージで事業展開を行い、渡良瀬遊水地と地域が一体となったハートランド空間としての整備を行います。

ハートランドの紋章



⑭-2 藤岡駅からのアクセス環境整備
全体（特に
第1調節池）周辺

藤岡駅は、渡良瀬遊水地の玄関駅となりますので、シンボル施設エリアとの一体的な整備が必要になります。歩行者や自転車を主な対象とした案内表示を充実させ、駅周辺の安全な道路空間や歩道の通行環境を整備します。

藤岡駅前ロータリー



⑭-3 クルマで来やすい環境整備
全体（特に
第1調節池）周辺

渡良瀬遊水地に車を利用して来る場合、目的地が分かりにくいくこととともに、案内表示が整備されていないため、不便な状況にあります。目的地を選定し、案内表示を充実させます。

誓い⑯

守り人：渡良瀬^{ナイツ}712を育てる

⑯-1 各種ボランティア・指導者の育成

渡良瀬遊水地は、様々な要素があり、全国でも珍しい特徴のあるものを多数有していますが、それらを説明したり、案内が出来たりする人が少ない状況にあります。

自然、歴史、観光などの案内や、各種体験活動の指導ができるボランティアや指導者を育成します。

全体

(特に

第1調節池

周辺

ボランティア養成講座



誓い⑯

ハートランドに親しむきっかけをつくる

⑯-1 ハートランドのイメージを活かしたキャラクター展開

全体

周辺

渡良瀬遊水地には、治水や自然、歴史、レジャー・スポーツなど様々な要素があります。しかし、渡良瀬遊水地にそれらの要素があることを知らない人も多くいます。渡良瀬遊水地の様々な要素を楽しんでもらうためには、それを知ってもらうことが大切になります。

ハートランドのイメージを広く知ってもらうため、親しみやすいキャラクターを設定し、興味を持ってもらうため、学校や地域と連携した取り組みを推進するとともに、絵本制作やイベント実施などによりメディア展開を行います。

キャラクターによるPR



誓い⑯ 地域らしい “おもてなし” をふるまう

⑯-1 食のおもてなし 全体 周辺

渡良瀬遊水地を利用したり楽しんでもらったりするには、多くの人に親しまれる「食」の要素も大切になります。

地場産の食材や地場産食材を使用した加工品を提供するとともに、現在提供されているダムカレーや冷汁のような地域の特徴を活かし、地域に関連したメニューの開発を行い、来訪者をもてなします。

ハートのダムカレー



藤岡冷汁



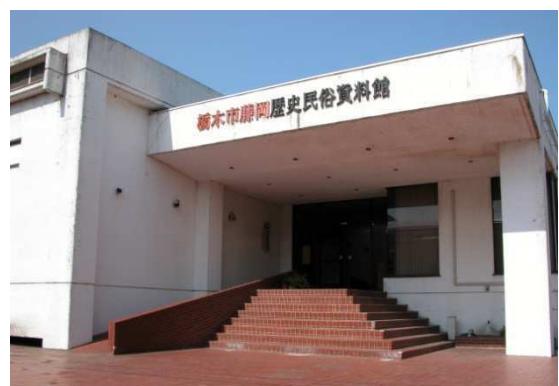
⑯-2 地域の施設などを活用したおもてなし 全体 周辺

渡良瀬遊水地周辺には、「渡良瀬の里」「歴史民俗資料館」など地域の施設があります。これらの既存施設を充実させるとともに、長時間滞在できる環境整備を行います。

渡良瀬の里



藤岡歴史民俗資料館



⑯-3 地域住民のおもてなし 全体 周辺

渡良瀬遊水地への来訪者が気持ちよく、楽しく過ごすためには、地域のおもてなしが大切になります。地域のおもてなし力の向上を図るため、調査、研究し実践します。

藤岡第1中学校制作プランター



誓い五：誇りを抱いて交流する

誓い⑯

ハートランドの活動を盛りあげる

⑯-1 ハートをモチーフにした商品やサービスの開発・提供

全体 周辺

渡良瀬遊水地をハートランドとしてイメージしていくためには、ハートの形をモチーフにした食品や食材、生活雑貨などの商品が必要になりますので、楽しく心が弾むような商品やサービスを開発し提供していきます。

⑯-2 遊水地と関連可能企業との連携

全体 周辺

渡良瀬遊水地がハートランドとなることにより、渡良瀬遊水地に関連した企業、地元の企業のほか、ハートに関連した企業と連携した取り組みが可能になりますので、連携を模索し、渡良瀬遊水地の環境保全、活性化を図ります。

⑯-3 イベントの開催拡充

全体 (特に

第1調節池

) 周辺

渡良瀬遊水地では、渡良瀬遊水地フェスティバルや駅伝など、現在でも様々な分野で多くのイベントが様々な主体で開催されています。現在実施しているイベントのクオリティを高め、新規イベントを創出するとともに、各主体のイベントの支援を行います。

また、他のラムサール条約登録湿地との交流など、より幅広いイベント・事業への展開を図ります。

渡良瀬オーガビッツ駅伝（企業との連携によるイベント）



誓い⑰

ハートランドをとりまく人・地域とつながる

⑰-1 周辺自治体や国とのつながり強化

全体

渡良瀬遊水地は、4市2町に跨っており、国の管理地で有るために、イベントや事業を行う際に周辺市町や国との連携が欠かせません。イベントや利活用の実施に当たっては関係する自治体や国と協議し、協力、連携して行います。

⑯-2 学校・地域とのつながり強化 全体

渡良瀬遊水地では、地域の団体、学校などがそれぞれの目的を持ち環境学習、体験学習を行っています。地域の団体や学校などの活動を協力、支援するとともに、それぞれの活動の連携を深めます。

⑯-3 団体、企業などとのつながり強化 全体

渡良瀬遊水地では、地域以外の団体なども多く活動をしています。これらの団体との協力や連携は、今後ますます重要となってきますので、協力や連携を進めるとともに、団体が活動するに当たっての環境の確保を行います。

渡良瀬遊水地の豊かな自然を利用した製造物やエネルギーなどについて、団体や企業などと協議し連携し、活用していきます。

国や周辺市町、渡良瀬遊水地に関する団体等で構成される「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」では、渡良瀬遊水地の保全と利活用について協議していますので、積極的に活用していきます。

⑯-4 湿地を有する他の地域とのつながり強化 全体

渡良瀬遊水地は、ラムサール条約の登録湿地となっているので、他のラムサール登録地との関係、交流が生まれています。また、他にも自然豊かな湿地を持ち、保全や利活用を行っている地域もあります。これらの地域との協力や連携は非常に大切であり、渡良瀬遊水地の様々な取り組みに活かされますので、協力や連携を進めます。

誓い⑰ ハートのこもったメッセージ・物語を贈る

⑰-1 ハートランドの情報発信 全体 周辺

ハートランドは、仮想の国であり、渡良瀬遊水地とリンクしていますので、現実でもあります。イメージしやすく、印象的なハートランドを絵本やパンフレット、ポスターなどを活用して渡良瀬遊水地の様々な要素の周知を行います。

仮想の楽園“ハートランド”



②⓪-2 メディアとの連携（出版・テレビ・ラジオ等）**全体****周辺**

ハートランドには、ファンタスティックな物語があります。この物語を全国に広めるため、各種メディアにアプローチし連携を図ります。

②⓪-3 フィルムコミッションの体制整備**全体****周辺**

ハートランドは、物語性とともに、現実にも素晴らしいロケーションが存在します。これは、テレビや映画、CM、雑誌などに活用されるレベルにありますので、フィルムコミッションの体制を整備し、ロケが数多く行われるようにします。

渡良瀬遊水地独特的美しいロケーション



資料編

1. 策定経緯

① 策定経緯

策定に当たっては、専門的見地からの助言等により実効性の高いプランとするため、「栃木市渡良瀬遊水地ハートランドプラン専門者会議」を組織し、策定の各段階において意見交換・助言等のための会議を実施しました。

また、市民意向を反映したプランとするため、「パブリックコメント」を実施しました。

策定経緯は下表の通りです。

区分 日時・期間	会議等	検討内容
平成26年 4月24日	第1回専門者会議	プランの目的、策定の進め方等
6月25日	第2回専門者会議	プランの前半部分（現況・課題）までの内容
8月27日	第3回専門者会議	プラン素案の全体的な骨格、個別項目の内容
10月22日	第4回専門者会議	プラン素案の全体的な内容・まとめ方
平成26年12月8日～ 平成27年1月9日	パブリックコメント	プラン全編の内容に対する意見収集 (市ホームページ掲載)
平成27年 1月21日	第5回専門者会議	プラン全編の最終確認

【会議のようす】



② 要綱・名簿

栃木市渡良瀬遊水地ハートランドプラン専門者会議設置要綱

(設置)

第1条 渡良瀬遊水地の利活用に関する基本計画となる渡良瀬遊水地ハートランドプランを策定するに当たり、渡良瀬遊水地に係る専門的な意見を求める場として、栃木市渡良瀬遊水地ハートランドプラン専門者会議（以下「ハートランドプラン専門者会議」という。）を設置する。

(構成)

第2条 ハートランドプラン専門者会議は、6人以内の参加者をもって構成する。

2 ハートランドプラン専門者会議の参加者は、次に掲げる者のうちから市長が決定する。

- (1) 渡良瀬遊水地の治水及び利水の機能について知識を有する者
- (2) 渡良瀬遊水地を主な活動拠点として、現に自然、歴史等の研究を行っている者
- (3) 渡良瀬遊水地を主な活動拠点として、現にレジャー又はスポーツを行っている者
- (4) 渡良瀬遊水地を主な活動拠点として、現に案内、学習会等の活動を行っている者
- (5) 前各号に掲げるもののほか、その他市長が必要と認める者

(依頼期間)

第3条 ハートランドプラン専門者会議の参加者として依頼する期間は、1年とする。

(座長及び副座長)

第4条 ハートランドプラン専門者会議に、座長及び副座長1人を置き、参加者の互選により定める。

2 座長は、ハートランドプラン専門者会議を招集し、会議の進行、調整等を行う。ただし、参加者の依頼後最初の会議は、市長が招集する。

3 座長は、必要があると認めるときは、参加者以外の者を会議に出席させ、その意見を聞くことができる。

4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故あるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

(庶務)

第5条 ハートランドプラン専門者会議の庶務は、総合政策部総合政策課において処理する。

(補則)

第6条 この告示に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この告示は、平成26年3月1日から施行する。

渡良瀬遊水地ハートランドプラン専門者会議名簿

No.	所 属 ・ 肩 書	役 職	氏 名
1	藤岡町巴波川周辺地区治水事業促進連絡協議会	会 長	荒川 雅義
2	一般財団法人 渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団	専務理事	白井 勝二
3	栃木県植物研究会	会 員	大和田 真澄
4	郷土史家	-	古澤 満明
5	特定非営利活動法人 渡良瀬エコビレッジ	事務局	町田 佳子
6	日本気球連盟	理 事	水上 麗子

2. アンケート調査

① 調査実施経緯

アンケートについては、イベント等の参加者への直接配布（その場で記入・回収）により実施しました。

実施の日時・場所・サンプル数等の詳細は下表の通りです。

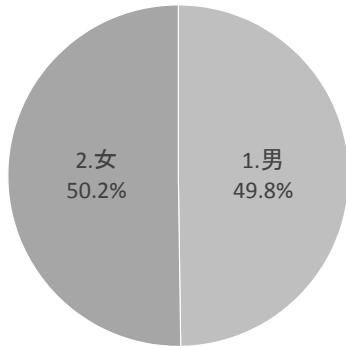
【実施経緯及びサンプル数】

区分 平成 26 年		実施場所等	サンプル数
6月	7・8日	エコライフ・フェア	35
	3・8・11日	渡良瀬遊水地展（市役所本庁4階）	19
	5日	遊馬の時間（渡良瀬運動公園）	22
7月	19日	ボランティア養成講座	18
	19日	国体関東ブロック大会（ボート競技会場）	37
	27日	ロードバイクセミナー	22
8月	3日		
	23・24日	渡良瀬ロックフェスティバル	14
9月	7日	渡良瀬遊水地フェスティバル	57
計			224

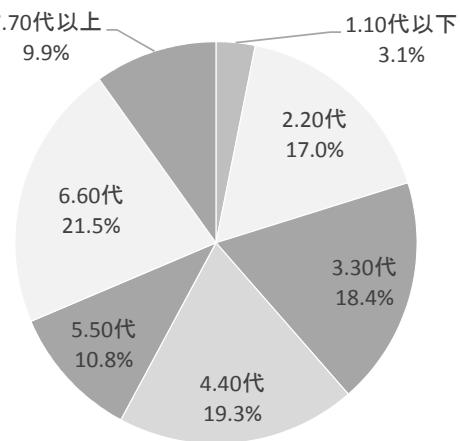
② 調査結果（全設問）

問1 あなたの性別、年齢、お住まいを教えてください。

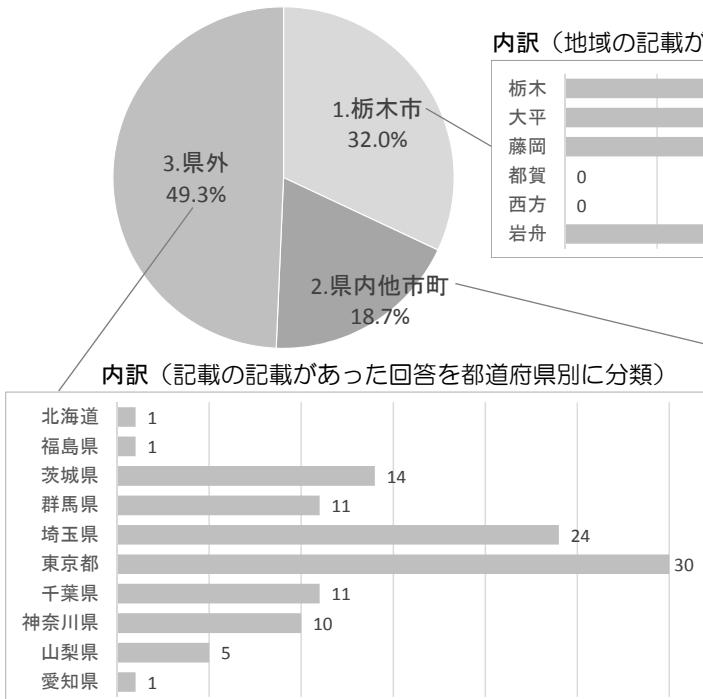
性別



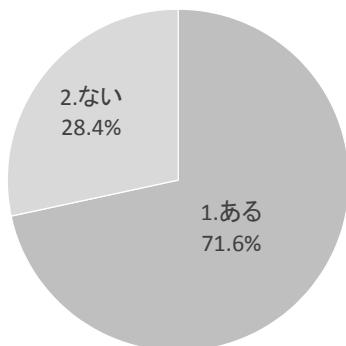
年齢



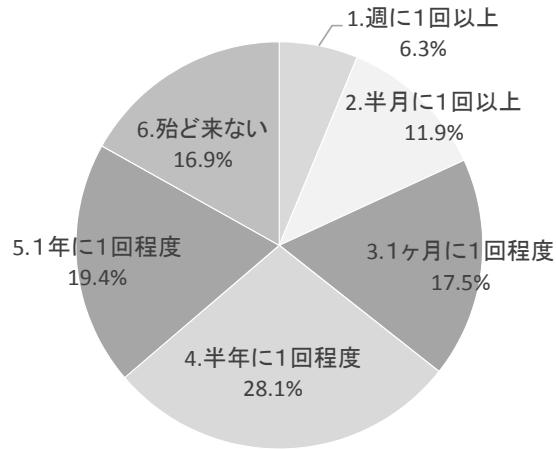
住所



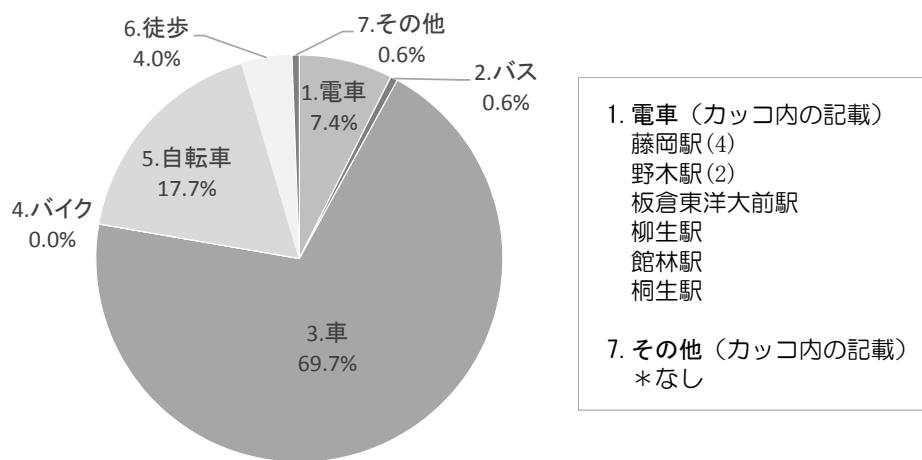
問2 渡良瀬遊水地を訪れたことがありますか？



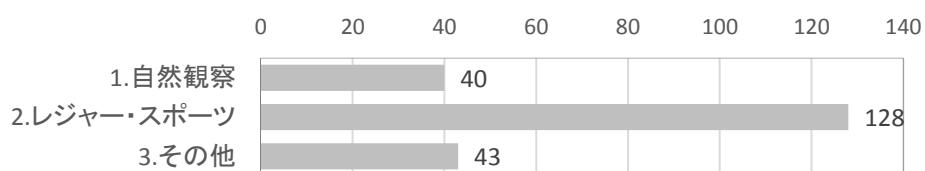
問3 問2で「1. ある」と答えた方に伺います。どのくらいの頻度で渡良瀬遊水地に来られますか？



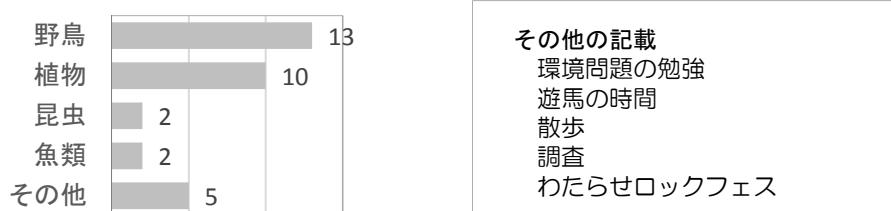
問4 問2で「1. ある」と答えた方に伺います。渡良瀬遊水地に来訪される主な交通手段を教えてください。



問5 問2で「1. ある」と答えた方に伺います。普段、どのような目的で渡良瀬遊水地を利用されますか？（複数回答）



1 自然観察の内訳（下記選択肢を選んだ回答を分類）



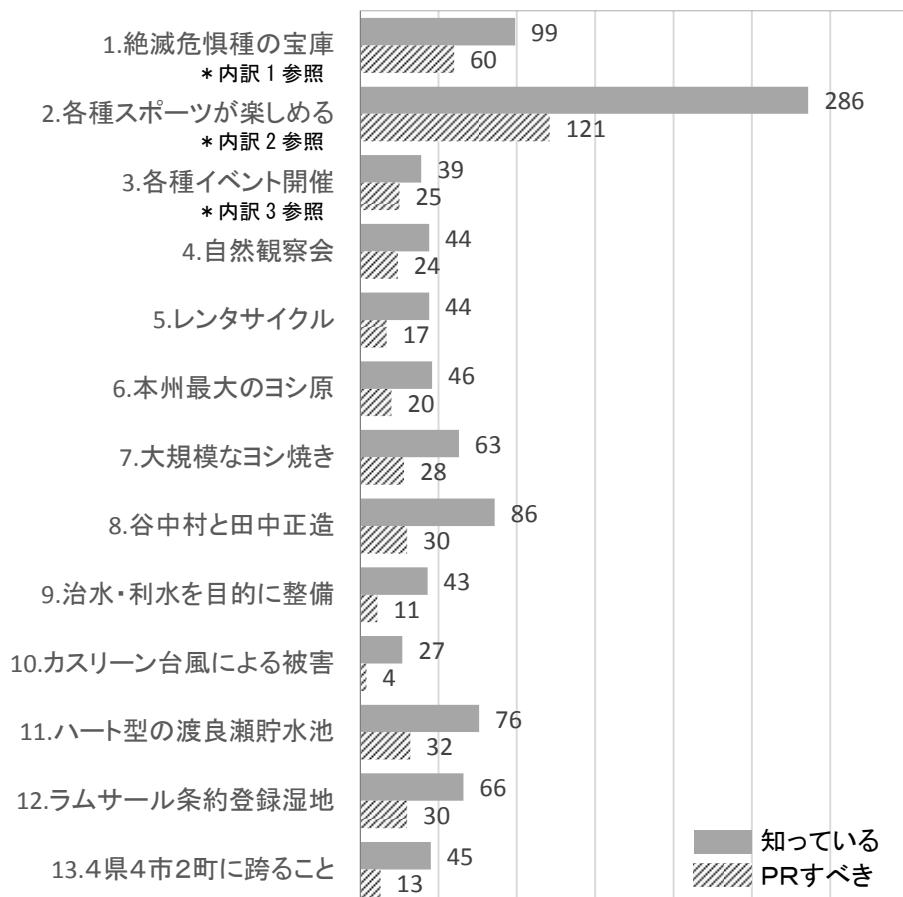
2 レジ ジャー・ストッパーの内訳（下記選択肢を選んだ回答を分類）



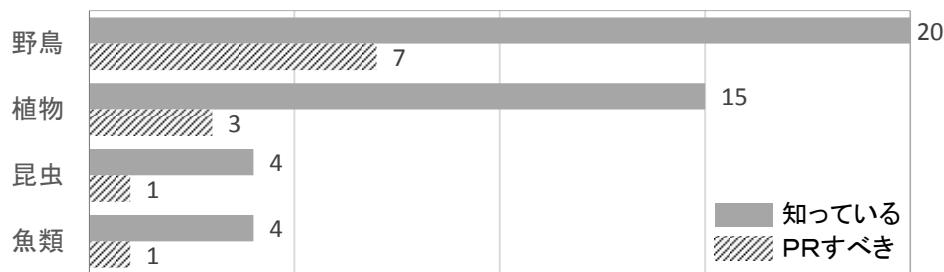
3 その他の記載

イベント(10)	仕事(2)	バードウォッチング
わたらせロックフェス(6)	スポーツ(2)	子どもと遊び
広場・公園(3)	乗馬(2)	ラムサール条約湿地なので
散歩・散策(2)	ボート見学(2)	わたらせフェス
観光(2)	買い物物(2)	クリーン作戦フェス
歴史・田中正造(2)	レクリエーション	ロードバイク見学

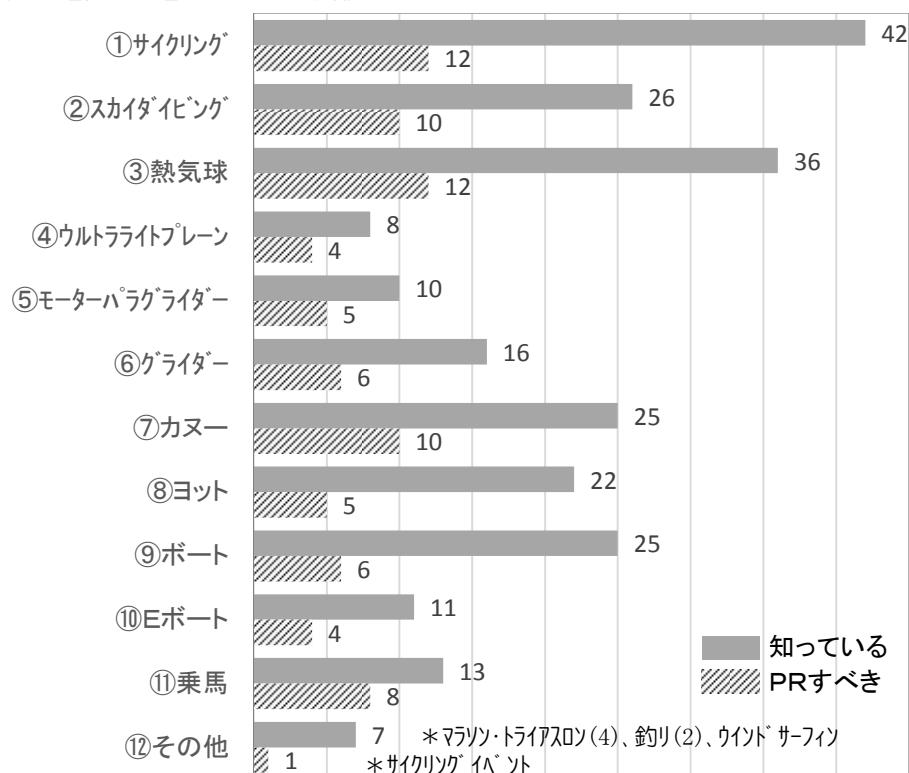
問6 渡良瀬遊水地に関する記載の中で、あなたが知っているもの、またPRすべきと思うのものを教えてください。(複数回答)



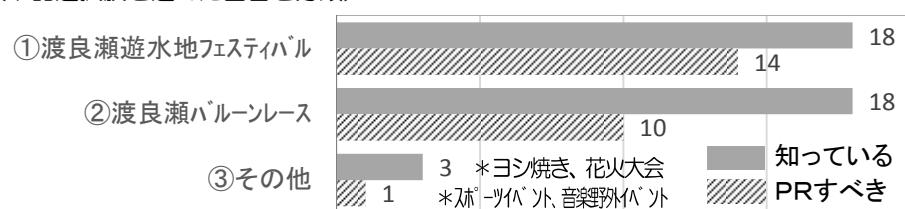
内訳1（下記選択肢を選んだ回答を分類）



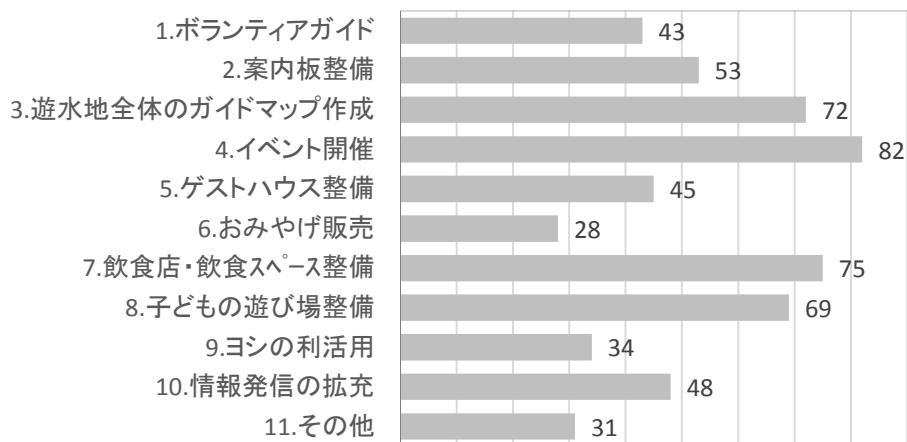
内訳2（下記選択肢を選んだ回答を分類）



内訳3（下記選択肢を選んだ回答を分類）



問7 今後、渡良瀬遊水地にどのようなことを期待しますか？（複数回答）



11. その他の記載

自然保護(4)	気軽に自然にふれあえる場としてPR
自然環境保全の発信基地	心のオアシス
地域に根差したガイド	宿・ホテル・コテージ(2)
駐車場(3)	道の駅
交通手段	キャンプ場整備
エントランス	スポーツ環境の整備
トイレ(2)	駅前整備
休憩所・ベンチ(2)	自転車ロードレース(2)
日陰になる場所	4県に跨るマラソ大会
芝すべり	地域の連携
ヨシ焼き	有名人の来訪
除草(堤防・サイクリングコース)	渡良瀬遊水地工ミュージアムプランの 作成と4市2町による実現
草が多くて見通しが悪い	
散策コースの整備(ウレタン舗装)	東京都内での案内所

3. 収録図版一覧

*所有者欄の略記 利根上：国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所
 アクリ：一般財団法人アクリメーション振興財団
 佐野博物館：佐野市郷土博物館
 フォトコン：渡良瀬遊水地フォトコンテスト入選作品
 環境省HP：環境省自然環境局野生生物課ホームページ
 市町村会議HP：ラムサール条約登録湿地関係市町村会議ホームページ

No.	ページ	項目番号	写真・図名称	写真・図別	所有者
001	1	1-1	遊水地航空写真	写真	利根上
002	1	1-4	ハートランドの住人達	図	栃木市
003	2	2-1	首都圏位置図	図	栃木市
004	2	2-1	周辺位置図	図	栃木市
005	3	2-1	遊水地略図（全体図）	図	アクリ
006	3	2-1	北エントランス（入口）	写真	栃木市
007	3	2-1	北エントランス（看板）	写真	栃木市
008	3	2-1	藤岡駅	写真	栃木市
009	3	2-1	ふれあいバス（藤岡駅前停留所）	写真	栃木市
010	3	2-1	藤岡駅前案内サイン	写真	栃木市
011	3	2-1	谷中湖エリアエントランス	写真	栃木市
012	3	2-1	ふれあいバス（谷中湖停留所）	写真	栃木市
013	3	2-1	中央エントランス（入口）	写真	栃木市
014	3	2-1	中央エントランス	写真	栃木市
015	3	2-1	谷中湖サイン（横）	写真	栃木市
016	3	2-1	谷中湖サイン（正面）	写真	栃木市
017	3	2-1	谷中湖サイン（看板）	写真	栃木市
018	4	2-2	4市2町の区分図	図	栃木市
019	6	2-3	部屋地区の決壊状況	写真	栃木市
020	6	2-3	部屋地区の決壊状況	写真	栃木市
021	6	2-3	部屋地区の決壊状況	写真	栃木市
022	6	2-3	遊水地図	図	栃木市
023	7	2-4	渡良瀬貯水池（谷中湖）	写真	利根上
024	7	2-4	水供給図	図	利根上
025	8	2-5	ヨシ原（第1調節池）	写真	栃木市
026	9	2-5	タチスミレ	写真	アクリ
027	9	2-5	ハナムグラ	写真	栃木市
028	9	2-5	ノジトラノオ	写真	アクリ
029	9	2-5	ワタラセツリフネソウ	写真	栃木市
030	9	2-5	チュウヒ	写真	アクリ
031	9	2-5	サンカノゴイ	写真	アクリ
032	9	2-5	オオセッカ	写真	アクリ
033	9	2-5	オオヨシキリ	写真	アクリ
034	9	2-5	ワタラセハンミョウモドキ	写真	アクリ
035	9	2-5	オオモノサシトンボ	写真	アクリ
036	9	2-5	オオルリハムシ	写真	アクリ
037	9	2-5	チョウトンボ	写真	アクリ
038	10	2-5	湿潤環境形成・水位安定試験地（第2調節池）	写真	栃木市
039	10	2-5	湿潤環境形成・水位安定試験地（第2調節池）	写真	栃木市
040	10	2-5	渡良瀬遊水地の生態系	図	利根上
041	11	2-5	ラムサール条約の3つの柱	図	環境省HP
042	11	2-5	日本のラムサール条約登録湿地	図	市町村会議HP

No.	ページ	項目番号	写真・図名称	写真・図別	所有者
043	12	2-6	水塚	写真	アクリ
044	12	2-6	揚舟	写真	アクリ
045	12	2-5	当時の谷中村（雷電神社）	写真	佐野博物館
046	12	2-6	当時の谷中村（大正期の邸宅）	写真	佐野博物館
047	12	2-6	平地の3県境	写真	栃木市
048	13	2-6	谷中村史跡保全ゾーン（役場跡）	写真	栃木市
049	13	2-6	谷中村史跡保全ゾーン（延命院跡付近）	写真	栃木市
050	13	2-6	ヨシズづくり	写真	栃木市
051	13	2-6	ヨシ焼き	写真	栃木市
052	14	2-7	スカイスポーツ（スカイダイビング）	写真	栃木市
053	14	2-7	ウォータースポーツ（カヌー、ヨット）	写真	アクリ
054	14	2-7	自転車（ロードバイク）	写真	栃木市
055	14	2-7	ウォーキング大会	写真	栃木市
056	14	2-7	バルーンレース（熱気球）	写真	栃木市
057	14	2-7	渡良瀬ロックフェスティバル	写真	栃木市
058	14	2-7	渡良瀬遊水地フェスティバル	写真	栃木市
059	15	2-7	昆虫観察会	写真	栃木市
060	15	2-7	植物観察会	写真	アクリ
061	15	2-7	ビッグハート弁当	写真	栃木市
062	16	2-8	藤岡遊水池会館	写真	栃木市
063	16	2-8	藤岡遊水池会館（施設内容）	写真	栃木市
064	16	2-8	湿地資料館	写真	栃木市
065	16	2-8	湿地資料館（施設内容）	写真	栃木市
066	16	2-8	藤岡スポーツふれあいセンター	写真	栃木市
067	16	2-8	藤岡スポふれ（1階施設内容）	写真	栃木市
068	16	2-8	藤岡スポふれ（2階施設内容）	写真	栃木市
069	16	2-8	子供広場ゾーン	写真	栃木市
070	16	2-8	体験活動センターわたらせ	写真	栃木市
071	16	2-8	体験活動センターわたらせ（施設内容）	写真	栃木市
072	16	2-8	展示スペース	写真	栃木市
073	16	2-8	展示スペース（施設内容）	写真	栃木市
074	19	3-2	Hearts姫&渡良瀬712（実写版）	写真	栃木市
075	19	3-2	渡良瀬遊水地連携図	図	栃木市
076	21	3-3	治水・利水（ヨシ原浄化施設）	写真	アクリ
077	21	3-3	自然と歴史（タチスミレ）	写真	アクリ
078	21	3-3	レジャー・スポーツ（熱気球）	写真	栃木市
079	21	3-3	おもてなしの環境（藤岡スポふれ）	写真	栃木市
080	21	3-3	誇りを抱いて（魚とのふれあい体験）	写真	栃木市
081	21	3-3	渡良瀬遊水地エリア図	図	栃木市
082	22	3-3	ハートランド関連図	図	栃木市
083	24	①-1	越流堤	写真	栃木市
084	24	①-1	越流状況	写真	アクリ
085	24	①-3	西前原排水機場	写真	栃木市
086	24	①-3	渡良瀬遊水地洪水時	写真	アクリ

No.	ページ	項目番号	写真・図名称	写真・図別	所有者
087	25	②-1	巴波川	写真	栃木市
088	25	②-1	渡良瀬貯水池機場	写真	栃木市
089	25	②-3	ヨシ原浄化施設	写真	アクリ
090	25	②-1	地内水路	写真	栃木市
091	26	④-1	自然環境保全（ヨシ原）	写真	栃木市
092	26	④-1	自然環境保全（ヨシ焼き）	写真	栃木市
093	27	④-2	外来種駆除活動	写真	栃木市
094	28	⑥-2	合同慰靈碑	写真	栃木市
095	28	⑥-2	雷電神社跡	写真	栃木市
096	28	⑦-1	豊かな大自然の環境	写真	栃木市
097	29	⑦-3	環境、体験学習1	写真	アクリ
098	29	⑦-3	環境、体験学習2	写真	アクリ
099	29	⑦-3	環境、体験学習3	写真	栃木市
100	29	⑦-3	環境、体験学習4	写真	アクリ
101	30	⑧-1	スカイスポーツ（熱気球）	写真	栃木市
102	30	⑧-1	スカイスポーツ（スカイダイビング）	写真	栃木市
103	30	⑧-1	スカイスポーツ（グライダー）	写真	栃木市
104	31	⑨-1	ウォータースポーツ（Eボート）	写真	栃木市
105	31	⑨-1	ウォータースポーツ（カヌー）	写真	アクリ
106	31	⑨-3	ルール＆マナー告知看板	写真	栃木市
107	32	⑩-1	サイクリング	写真	アクリ
108	32	⑩-1	ウォーキング	写真	栃木市
109	32	⑩-1	乗馬	写真	栃木市
110	32	⑩-2	藤岡渡良瀬運動公園エントランス	写真	栃木市
111	32	⑩-2	藤岡渡良瀬運動公園芝生公園	写真	栃木市
112	33	⑫-1	藤岡スポーツふれあいセンター	写真	栃木市
113	33	⑭-1	ハートランドの紋章	図	栃木市
114	34	⑭-2	藤岡駅前ロータリー	写真	栃木市
115	34	⑮-1	ボランティア養成講座	写真	栃木市
116	35	⑯-1	キャラクターによるPR（Hearts姫）	写真	栃木市
117	35	⑯-1	キャラクターによるPR（渡良瀬712）	写真	栃木市
118	36	⑰-1	ハートのダムカレー	写真	栃木市
119	36	⑰-1	藤岡冷汁	写真	栃木市
120	36	⑰-2	渡良瀬の里	写真	栃木市
121	36	⑰-2	藤岡歴史民俗資料館	写真	栃木市
122	36	⑰-3	藤岡第1中学校制作プランター	写真	栃木市
123	37	⑱-3	渡良瀬オーガビツツ駅伝	写真	栃木市
124	38	㉐-1	仮想の楽園”ハートランド”1 夏 静かに暮れる	写真	フォトコン
125	38	㉐-1	仮想の楽園”ハートランド”2 秋 霧の湖面	写真	フォトコン
126	39	㉐-3	独特の美しいロケーション1 春 霞	写真	フォトコン
127	39	㉐-3	独特の美しいロケーション2 春 いぶき	写真	フォトコン
128	39	㉐-3	独特の美しいロケーション3 夏 夕立の予感	写真	フォトコン
129	39	㉐-3	独特の美しいロケーション4 夏 残暑の候	写真	フォトコン
130	39	㉐-3	独特の美しいロケーション5 秋 黄色の目覚	写真	フォトコン
131	39	㉐-3	独特の美しいロケーション6 冬 雪化粧	写真	フォトコン

渡良瀬遊水地ハートランドプラン

ハートランドの国づくり

《発行日》 平成27年3月

《発行》 栃木市
www.city.tochigi.lg.jp/

《編集》 総合政策部 総合政策課 遊水地ワיזユース担当
〒323-1192
栃木県栃木市藤岡町藤岡1022番地5
電話：0282-62-0919
Email：wise-use@city.tochigi.lg.jp
(いずれも遊水地ワיזユース担当直通)



Heart Land
Tochigi City



栃木市